

# 2025年3月期 決算説明資料

---

2025年5月12日

東京計器株式会社 (証券コード 7721)



## 発表のポイント

## 2025年3月期（実績） 前期比で大幅な増収・増益

売上高	57,650百万円	前期比	10,484百万円増	
営業利益	4,856百万円	前期比	2,087百万円増	

## 2026年3月期（業績予想） 当初計画比 増収・増益であるが人的投資、本社移転費等により当期比減益見込み

売上高	59,600百万円	当初計画比	1,300百万円増	
		当期比	1,950百万円増	
営業利益	3,890百万円	当初計画比	20百万円増	
		当期比	966百万円減	

## 2027年3月期（中期経営計画最終年度） 計画を上方修正し過去最高の売上高、営業利益を目指す（P18より）

売上高	68,300百万円	当初計画比	8,000百万円増	
営業利益	5,580百万円	当初計画比	770百万円増	

## 資料の内容

---

### 1. 2025年3月期決算概要

### 2. 2026年3月期計画 及び中期経営計画進捗

#### <ご参考資料>

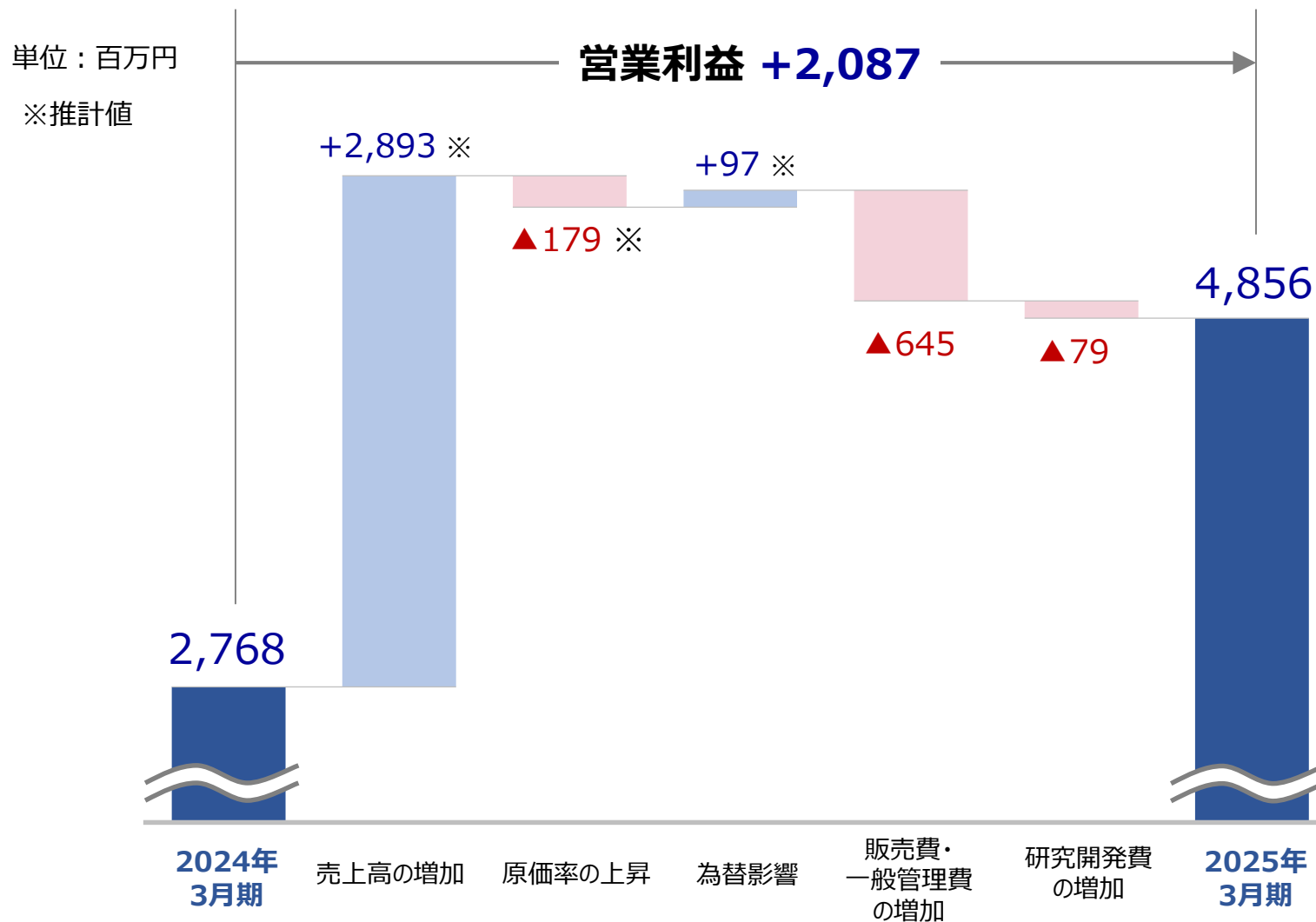
- 業績推移
- 事業紹介

## 売上高・損益

単位：百万円	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 実績	増減額	増減率	2025年2月7日発表		
					予想	増減額	増減率
売上高	47,166	<b>57,650</b>	+10,484	+22.2%	57,400	+250	+0.4%
営業利益	2,768	<b>4,856</b>	+2,087	+75.4%	4,570	+286	+6.3%
経常利益	2,990	<b>5,001</b>	+2,011	+67.2%	4,730	+271	+5.7%
親会社株主に帰 属する当期純利益	2,277	<b>3,797</b>	+1,521	+66.8%	3,400	+397	+11.7%
売上高 営業利益率	5.9%	<b>8.4%</b>	+2.6%pt				
為替レート (対USDドル)	144.32円	<b>152.64円</b>					

- 前期比で大幅な増収・増益。
- 船舶港湾機器事業、防衛・通信機器事業が増収に貢献。
- 全ての利益項目で大幅な増益。  
営業利益、経常利益は過去最高を更新。

## 営業利益増減



販売費及び一般管理費が増加したものの、防衛費の増加による防衛事業の売上高の大幅な増加が貢献し、大幅な増益。

## セグメント別売上高・損益

単位：百万円		2024年 3月期 実績	2025年 3月期 実績	増減額	増減率	2025年2月7日発表			前期比概況
						予想	増減額	増減率	
船舶港湾 機器	売上高	11,016	<b>12,529</b>	+1,513	+13.7%	12,600	▲71	▲0.6%	新造船向け機器の納入及び保守サービスが好調であったこと、為替が円安基調であったことから増収・増益。
	営業利益	1,006	<b>1,551</b>	+545	+54.2%	1,560	▲9	▲0.6%	
油空圧機器	売上高	11,675	<b>11,460</b>	▲215	▲1.8%	11,300	+160	+1.4%	海外市場が順調に推移したことに加え、油圧応用装置の納入が増加したものの、プラスチック加工機械市場、工作機械市場、建設機械市場向けの納入が低調に推移したことから前期比で減収・減益。
	営業利益	273	<b>197</b>	▲76	▲27.7%	240	▲43	▲17.8%	
流体機器	売上高	4,772	<b>5,019</b>	+247	+5.2%	4,900	+119	+2.4%	官需市場、及び消火設備市場が堅調に推移したことにより増収・増益。
	営業利益	733	<b>789</b>	+57	+7.7%	660	+129	+19.6%	
防衛・ 通信機器	売上高	16,185	<b>24,394</b>	+8,209	+50.7%	24,400	▲6	▲0.0%	防衛事業において防衛予算の増加を背景に航空機用レーダー警戒装置や航空機用部品等の納入が好調に推移したことから、前期比で大幅な増収・増益。
	営業利益	362	<b>1,635</b>	+1,274	+352.1%	1,390	+245	+17.6%	
その他	売上高	3,517	<b>4,247</b>	+730	+20.8%	4,200	+47	+1.1%	鉄道機器事業において主力の超音波レール探傷車の販売が増加し、前期比で増収・増益。
	営業利益	502	<b>756</b>	+254	+50.6%	800	▲44	▲5.5%	
合計	売上高	47,166	<b>57,650</b>	+10,484	+22.2%	57,400	+250	+0.4%	
	営業利益	2,768	<b>4,856</b>	+2,087	+75.4%	4,570	+286	+6.3%	

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

## 受注の状況

単位:百万円	受注高				受注残高				概況
	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 実績	増減額	増減率	2024年 3月期末 実績	2025年 3月期末 実績	増減額	増減率	
船舶港湾機器	11,268	13,817	+2,549	+22.6%	4,416	5,705	+1,288	+29.2%	海外市場の新造船向けや保守サービスの需要が好調に推移し、受注高・受注残高ともに増加。
油空圧機器	11,635	11,466	▲169	▲1.5%	3,399	3,390	▲9	▲0.3%	海外市場が好調に推移し、停滞する他市場をカバーしたため、受注高・受注残高ともに同水準。
流体機器	4,700	5,415	+715	+15.2%	1,521	1,917	+396	+26.0%	計測機器は官需、民需市場とも堅調に推移。加えて消火設備市場が好調に推移したため受注高・受注残高ともに増加。
防衛・通信機器	27,566	33,988	+6,422	+23.3%	33,651	43,246	+9,595	+28.5%	防衛予算の増加を背景に、受注高は過去最高を更新、期末受注残高も過去最高を更新。
その他	3,759	4,666	+907	+24.1%	1,733	2,151	+418	+24.1%	鉄道機器事業において、海外大型案件の獲得により、受注高・受注残高ともに増加。
<b>合 計</b>	<b>58,929</b>	<b>69,352</b>	<b>10,423</b>	<b>+17.7%</b>	<b>44,720</b>	<b>56,408</b>	<b>+11,688</b>	<b>+26.1%</b>	<b>受注高は過去最高を更新 期末受注残高も過去最高を更新</b>

## 経営指標

資本収益性	単位	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
ROE (自己資本利益率)	%	3.1	4.6	2.7	6.5	<b>9.8</b>
ROA (総資産経常利益率)	%	2.7	3.5	3.0	4.8	<b>7.0</b>
株主資本コスト	%	6.7	6.1	7.8	8.1	<b>6.3</b>

## 一株当たり情報

EPS (一株当たり利益)	円	57.67	91.06	53.16	138.62	<b>231.15</b>
BPS (一株当たり純資産)	円	1,919.21	2,005.00	2,005.89	2,243.54	<b>2,460.11</b>

## 市場評価

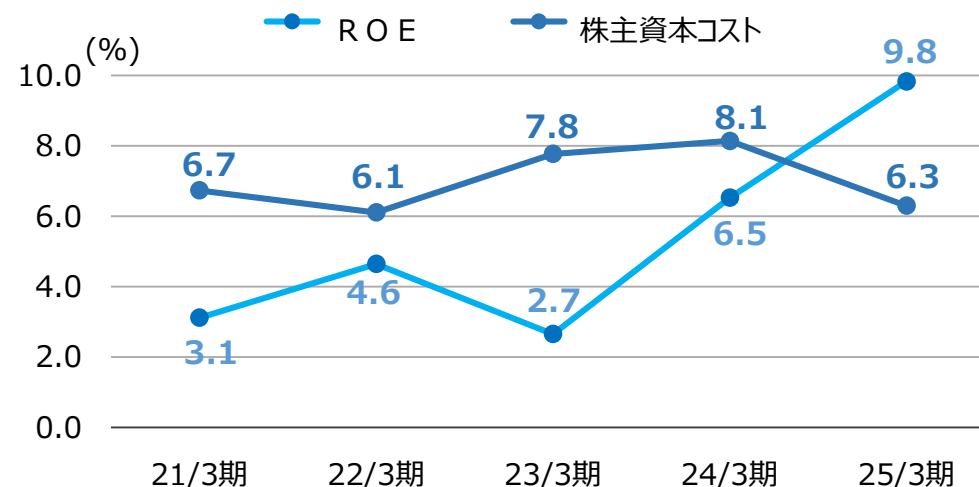
期末株価	円	944	1,187	1,215	2,719	<b>3,345</b>
期末時価総額 (注)	億円	161	195	199	447	<b>550</b>
PER (株価収益率)	倍	16.37	13.03	22.85	19.61	<b>14.47</b>
PBR (株価純資産倍率)	倍	0.49	0.59	0.61	1.21	<b>1.36</b>

(注) 期末時価総額は、連結決算日における株価×期末発行済株式数（自己株式控除）により算出しております。

## 資本コストや株価を意識した経営の実現

- 当社の株主資本コストは6～8%と認識。
- ROEは大きく上昇し、株主資本コストを上回った。
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、中期経営計画（2024-2026年度）の重点戦略を実行し、エクイティスプレッドの拡大を目指す。

## 資本収益性





## 貸借対照表

単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	50,863	56,190	+5,327
（棚卸資産）	22,905	23,970	+1,065
固定資産	16,115	20,307	+4,192
（有形固定資産）	7,025	9,709	+2,684
<b>資産合計</b>	<b>66,978</b>	<b>76,497</b>	<b>+9,519</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	21,781	24,060	+2,279
（短期借入金）	8,954	10,417	+1,462
固定負債	7,828	11,430	+3,602
（長期借入金）	5,808	9,062	+3,254
<b>負債合計</b>	<b>29,609</b>	<b>35,490</b>	<b>+5,881</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	32,901	36,180	+3,279
その他の包括利益累計額	3,948	4,238	+290
<b>純資産合計</b>	<b>37,369</b>	<b>41,007</b>	<b>+3,638</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>66,978</b>	<b>76,497</b>	<b>+9,519</b>

- 資産の部：流動資産  
防衛事業において売上が大幅に伸長し売上債権が3,940百万円、受注増に対応するための仕入増の影響で棚卸資産が1,065百万円増加。
- 資産の部：固定資産  
新工場棟（防衛管理棟）竣工等の成長投資、老朽化設備の更新等により有形固定資産が2,684百万円増加。
- 負債の部  
大幅な受注増に伴う資金需要に対応するため長期借入金の増加により、借入金が4,716百万円増加。
- 自己資本比率は52.8%。  
引き続き財務健全性を維持。

## キャッシュ・フローの状況

単位：百万円	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
営業CF	7,068	2,256	▲2,829	▲2,835	▲455
投資CF	▲928	▲572	4	▲2,373	▲4,025
FCF	6,140	1,684	▲2,824	▲5,209	▲4,480
財務CF	▲2,247	▲1,120	▲780	4,299	4,178
現金及び現金同等物の 期末残高	11,588	12,208	8,671	7,796	7,553
減価償却費	1,128	1,073	1,035	868	1,193
棚卸資産	12,673	14,979	18,153	22,905	23,970

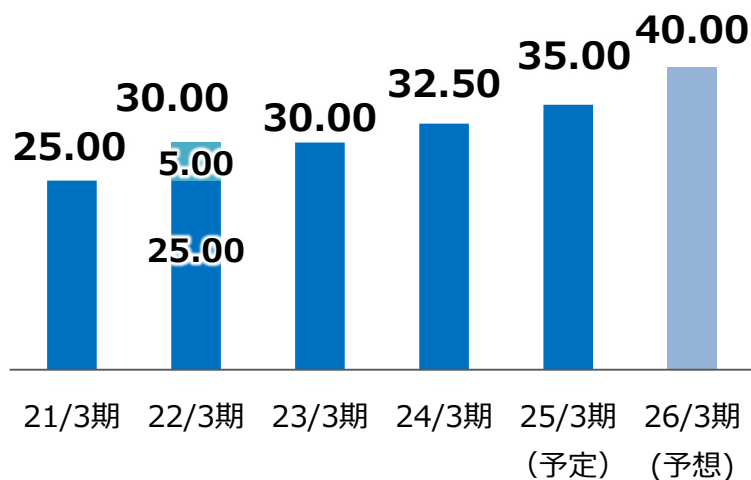
- 営業CFは、税前利益4,875百万円を確保したものの、防衛事業の伸長を主要因に売上債権が3,932百万円増加、棚卸資産が1,037百万円増加等によりマイナス。
- 投資CFは、防衛管理棟を初めとする固定資産の取得に3,833百万円を支出したこと等によりマイナス。
- 結果、FCFは大きくマイナス。

## 株主還元

## 配当金の推移

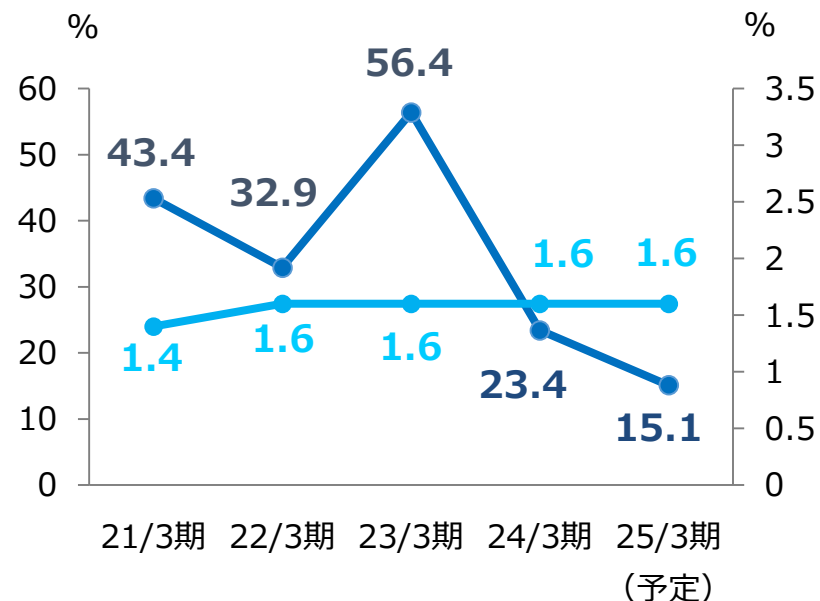
■ 年間配当金 ■ 記念配当

単位：円



## 配当性向とDOEの推移

● 配当性向 ● DOE (株主資本配当率)



## 配当基本方針

- 「東京計器ビジョン2030」の実現による企業価値向上に向け、成長投資を最優先としつつ、財務基盤とのバランスを考慮しながら、最適資本構成を意識した最適な株主還元施策を実施する。
- 毎期の配当については、過去の配当実績も勘案し、安定的かつ継続的な株主還元を努める。

## 配当金

2025年3月期 (予定) 35.00円

2026年3月期 (予想) 40.00円

※2000年度以降の過去最高を3期連続更新

## 株主優待

- 対象となる株主様の保有株式数に応じてポイントを贈呈。
- ポイントを株主様限定の特設ウェブサイト「東京計器プレミアム優待倶楽部」において、お好みの商品と交換。
- 詳細は株主様限定ウェブサイトでご確認ください。

<https://tokyokeiki.premium-yutaiclub.jp/>

## 資料の内容

---

1. 2025年3月期決算概要

**2. 2026年3月期計画 及び中期経営計画進捗**

〈ご参考資料〉

- 業績推移
- 事業紹介

## 外部環境リスクの状況

	発生事象		対象事業	影響・対応	影響度
米国政権の政策	・追加関税	・米国への直接販売	✓ その他 (米国販売子会社)	・売上高はごく僅かであるが、販売価格の適正化に努め利益確保。 2025年3月期 米国向けの全社売上高は603百万円。	低
		・間接的影響	✓ 船舶港湾	・海上荷動きの鈍化。(－) ・輸出入国の変更による輸送距離の延伸により保守サービスに影響。(＋)	不明
			✓ 油空圧	・客先の生産予定を早期に把握し、生産を適切にコントロール。	不明
不安定な為替相場	・急激な円高。		✓ 船舶港湾 ✓ 油空圧	・140円/\$と予想。 船舶港湾：外貨建て販売(－) 油空圧：海外からの購入部品(＋)	中
中国経済	・経済停滞による販売への影響。		✓ 船舶港湾 ✓ 油空圧	・高付加価値製品の拡販。 ・他地域での拡販。	中

## 2026年3月期 業績予想

単位：百万円	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	57,650	<b>59,600</b>	+1,950	+3.4%
営業利益	4,856	<b>3,890</b>	▲966	▲19.9%
経常利益	5,001	<b>3,910</b>	▲1,091	▲21.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,797	<b>2,460</b>	▲1,337	▲35.2%
売上高営業利益率	8.4%	<b>6.5%</b>	▲1.9%pt	

為替レートおよび為替感応度

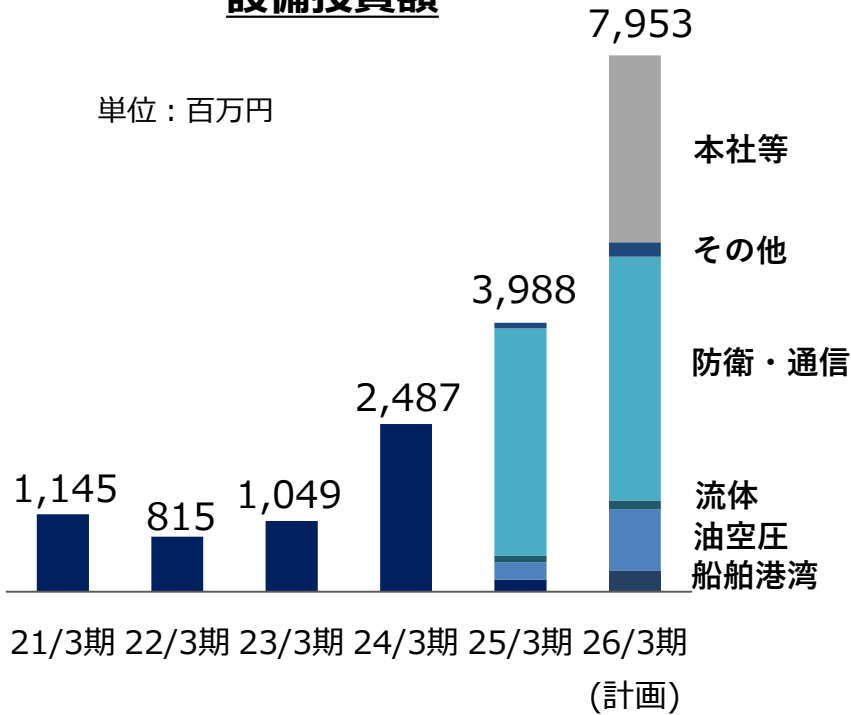
単位：百万円

通貨	為替レート		感応度（1-4Q）	
	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	基準	営業利益
USD	152.64円	<b>140.00円</b>	1円円安になった場合	+12

- 防衛・通信機器事業をはじめとして売上高の増加が見込まれるものの、人件費の増加や本社移転費用の発生が見込まれることから増収・減益を計画。

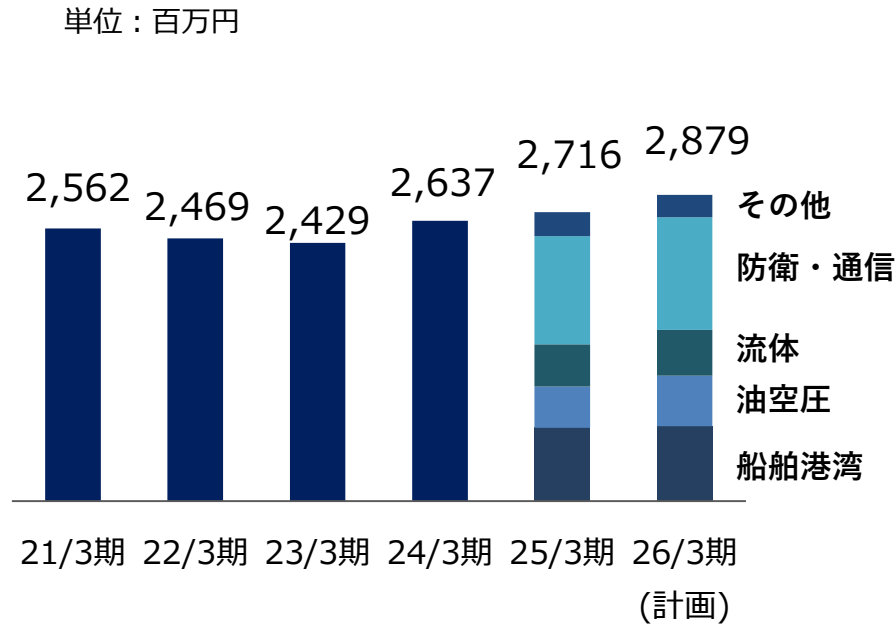
## 成長投資（設備投資額・研究開発費）

### 設備投資額



	25/3期	26/3期
■ 本社等	3	2,772
■ その他	82	211
■ 防衛・通信	3,369	3,617
■ 流体	100	131
■ 油空圧	255	914
■ 船舶港湾	178	308
<b>合計</b>	<b>3,988</b>	<b>7,953</b>

### 研究開発費



	25/3期	26/3期
■ その他	225	211
■ 防衛・通信	1,016	1,057
■ 流体	397	430
■ 油空圧	389	478
■ 船舶港湾	690	704
<b>合計</b>	<b>2,716</b>	<b>2,879</b>

#### ■ 設備投資額

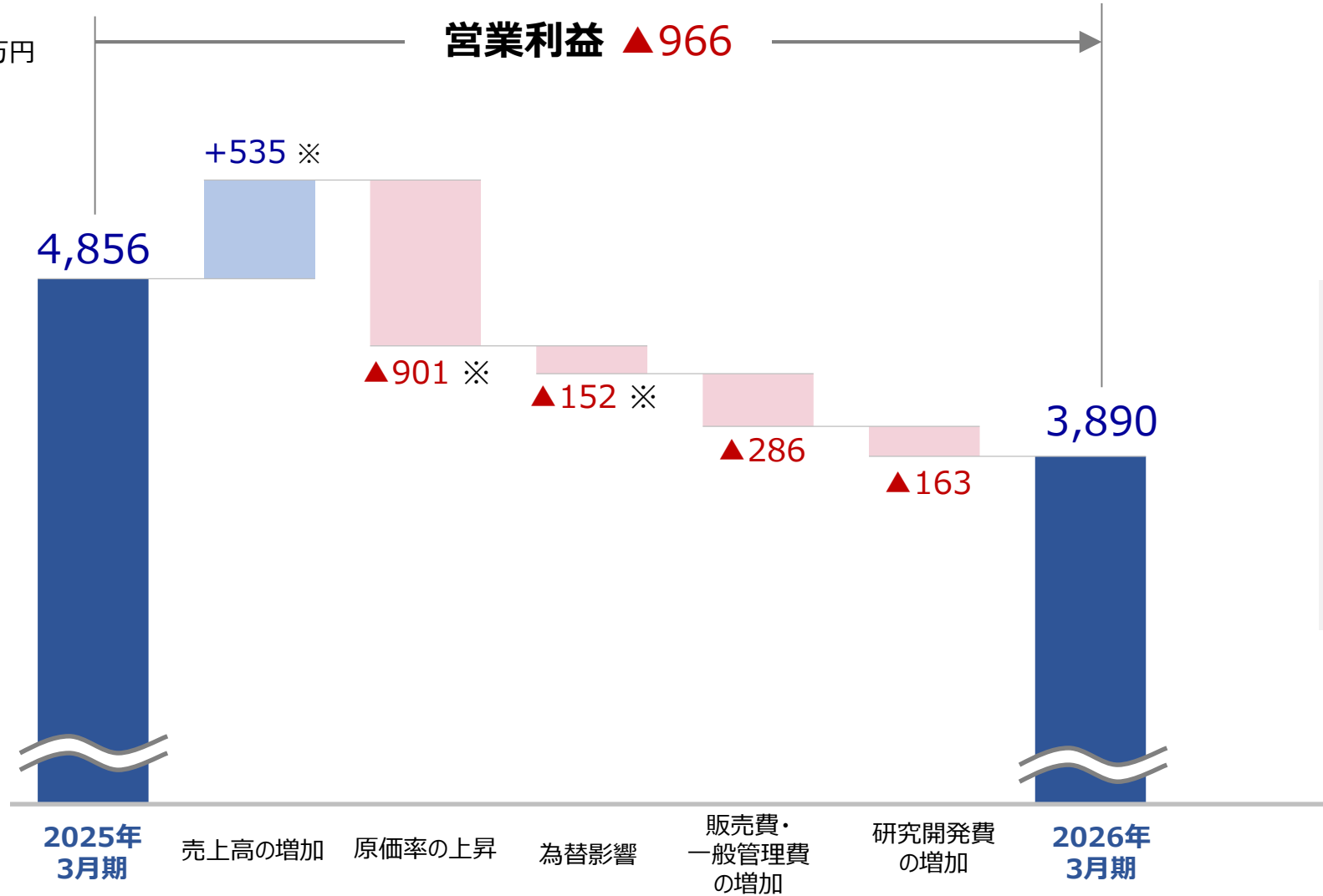
防衛事業の開発案件に対応するほか、各種生産設備の更新及び増強に加え、本社移転に伴う設備を計画。

#### ■ 研究開発費

宇宙、水素、エッジAIなど成長ドライバーに係る製品開発のほか、自動運航船や防衛事業の新規案件獲得に対応するための研究開発を計画。

## 営業利益増減

単位：百万円  
※推計値



- ベースアップ（605百万円）等による人件費の増加及び本社移転（360百万円）による原価率の上昇、及び販管費・一般管理費の増加。
- 原価低減に努め利益を確保していく。

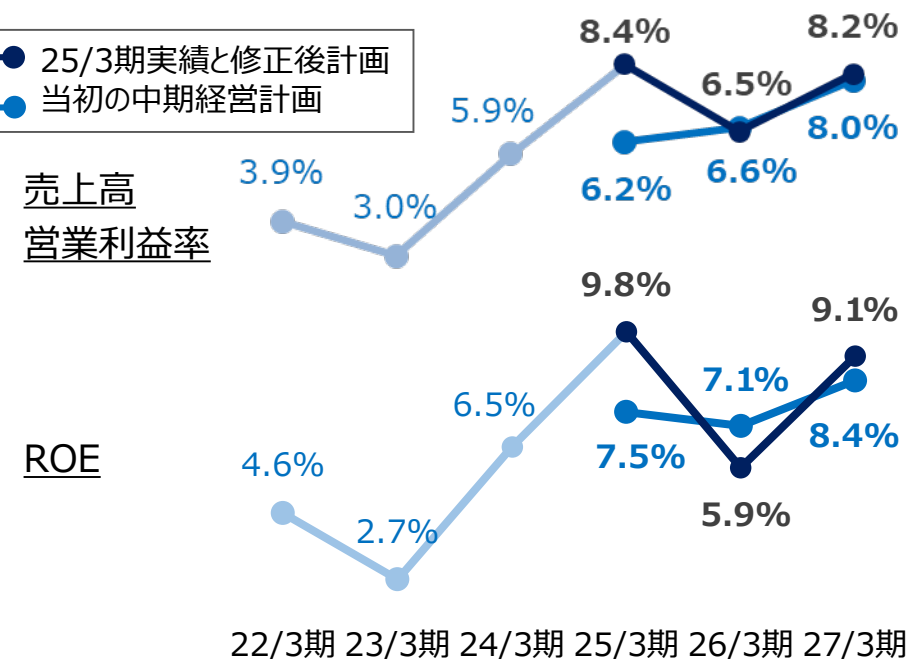
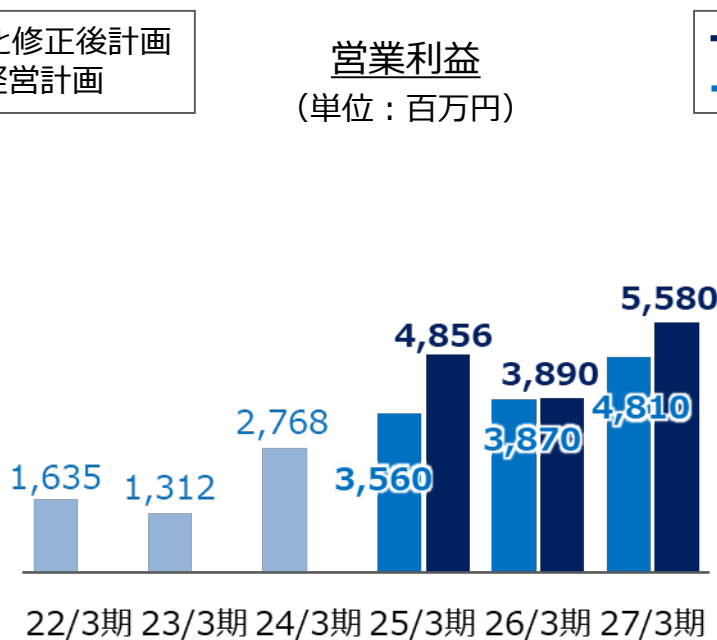
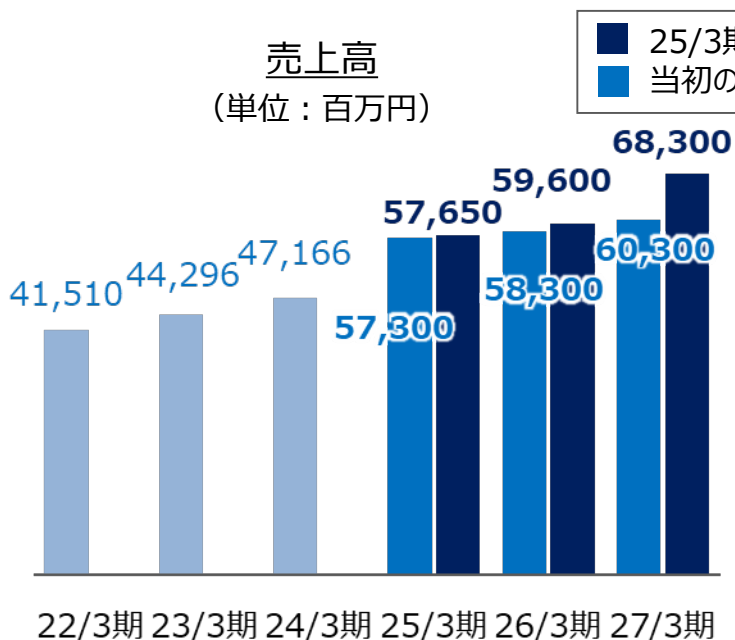


## セグメント別業績予想

単位：百万円		2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額	増減率	前期比見通し
船舶港湾機器	売上高	12,529	<b>13,000</b>	+471	+3.8%	新造船需要や保守サービスが引き続き堅調に推移する見込み。一方、将来に向けた人的投資や為替の影響等により増収・減益の見込み。
	営業利益	1,551	<b>1,120</b>	▲431	▲27.8%	
油空圧機器	売上高	11,460	<b>11,900</b>	+440	+3.8%	海外市場は2024年度並み、産業機械市場の下期以降の需要回復や特装車の需要回復を織り込み、増収・増益の見込み。
	営業利益	197	<b>240</b>	+43	+21.6%	
流体機器	売上高	5,019	<b>5,200</b>	+181	+3.6%	計測機器及び消火設備とも堅調に推移する見込み。一方、製品構成の変化により増収・減益の見込み。
	営業利益	789	<b>610</b>	▲179	▲22.7%	
防衛・ 通信機器	売上高	24,394	<b>25,300</b>	+906	+3.7%	防衛事業においては引き続き高水準を維持することに加え、通信機器事業の移動体衛星通信用アンテナスタブライザーの納入により増収見込み。利益は製品構成の変化により減益の見込み。
	営業利益	1,635	<b>1,520</b>	▲115	▲7.1%	
その他	売上高	4,247	<b>4,200</b>	▲47	▲1.1%	検査機器事業において、新製品の拡販により増収が見込まれるものの、鉄道機器事業が主力の超音波レール探傷車の納入台数減少により減収・減益の見込み。
	営業利益	756	<b>480</b>	▲276	▲36.5%	
合計	売上高	57,650	<b>59,600</b>	+1,950	+3.4%	
	営業利益	4,856	<b>3,890</b>	▲966	▲19.9%	

## 中期経営計画の上方修正

- 上方修正の背景
- 2025年3月期に計画外で受注した防衛事業における大型研究開発案件、及び堅調な船舶港湾機器事業の見通し等を反映
  - これらにより計画最終年度となる2027年3月期に過去最高の売上高、営業利益を目指す

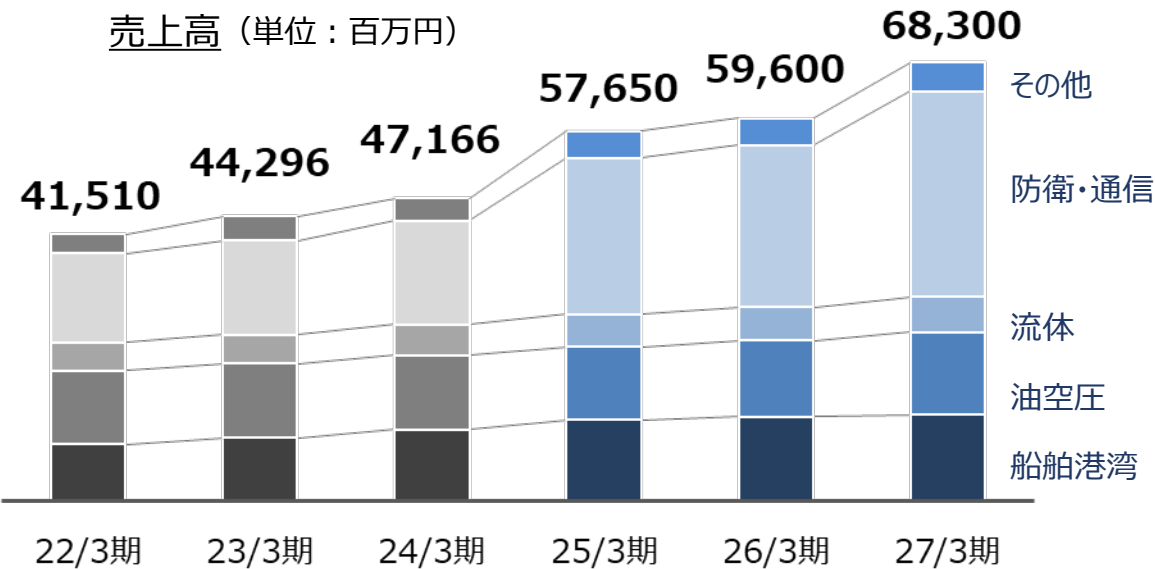


		2025年3月期 (2024年度)		2026年3月期 (2025年度)		2027年3月期 (2026年度)	
		当初計画	実績	当初計画	修正計画	当初計画	修正計画
	売上高	573億円	576.5億円	583億円	596億円	603億円	683億円
収益力	営業利益	35.6億円	48.6億円	38.7億円	38.9億円	48.1億円	55.8億円
	営業利益率	6.2%	8.4%	6.6%	6.5%	8.0%	8.2%
	ROE	7.5%	9.8%	7.1%	5.9%	8.4%	9.1%

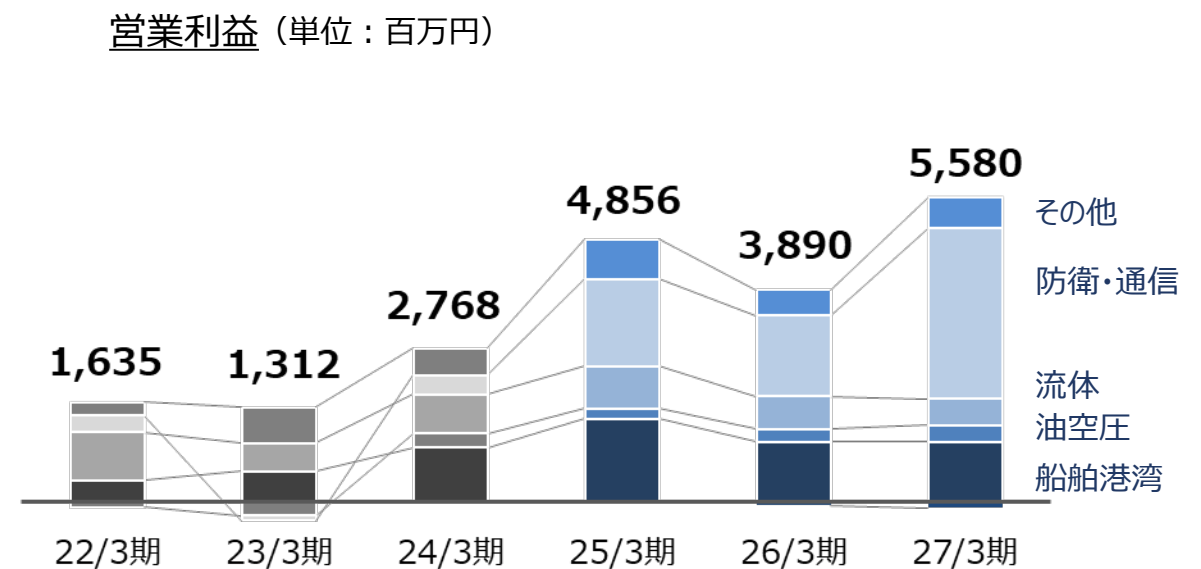
## セグメント別事業計画進捗

- 防衛・通信機器事業の2025年3月期に受注した大型研究開発案件が2027年3月期の売上高、営業利益に貢献
- 東京計器ビジョン2030の目標を目指し、研究開発投資と人材の確保に引き続き注力

売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期
■ その他	2,966	3,718	3,517	<b>4,247</b>	<b>4,200</b>	<b>4,500</b>
■ 防衛・通信	13,884	14,765	16,185	<b>24,394</b>	<b>25,300</b>	<b>32,100</b>
■ 流体	4,432	4,452	4,772	<b>5,019</b>	<b>5,200</b>	<b>5,500</b>
■ 油空圧	11,526	11,658	11,675	<b>11,460</b>	<b>11,900</b>	<b>12,900</b>
■ 船舶港湾	8,700	9,700	11,016	<b>12,529</b>	<b>13,000</b>	<b>13,300</b>
<b>合計</b>	<b>41,510</b>	<b>44,296</b>	<b>47,166</b>	<b>57,650</b>	<b>59,600</b>	<b>68,300</b>

	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期
■ その他	250	675	502	<b>756</b>	<b>480</b>	<b>580</b>
■ 防衛・通信	312	▲94	362	<b>1,635</b>	<b>1,520</b>	<b>3,210</b>
■ 流体	915	527	733	<b>789</b>	<b>610</b>	<b>490</b>
■ 油空圧	▲115	▲268	273	<b>197</b>	<b>240</b>	<b>310</b>
■ 船舶港湾	388	565	1,006	<b>1,551</b>	<b>1,120</b>	<b>1,120</b>
<b>合計</b>	<b>1,635</b>	<b>1,312</b>	<b>2,768</b>	<b>4,856</b>	<b>3,890</b>	<b>5,580</b>

## セグメント別事業計画進捗

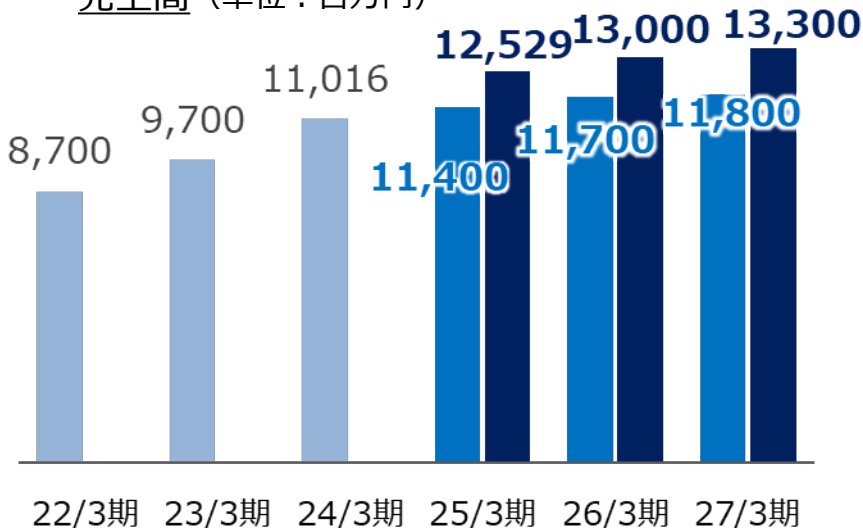
### 船舶港湾機器事業

- 造船所の建造能力は急伸しないものの、今後も船腹需要の増加が見込まれるため、中長期にわたり売上高は増加する見通し
- 研究開発投資と人材の確保に注力

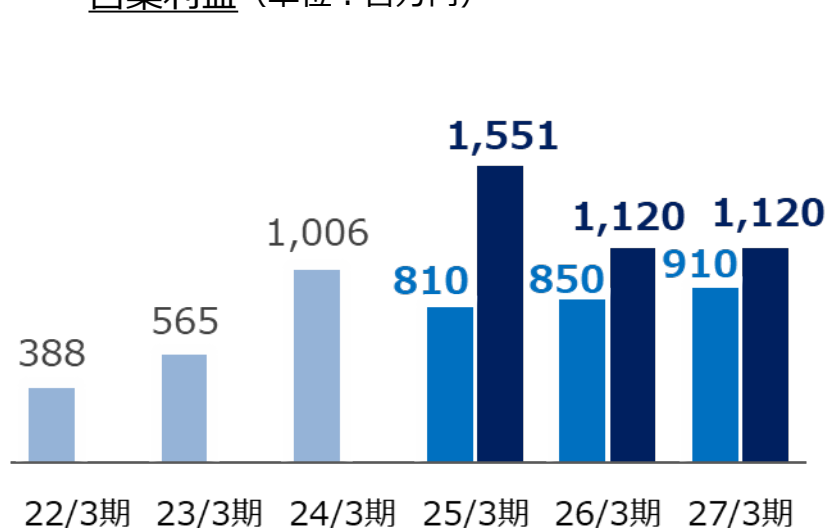
■ 25/3期実績と修正後計画  
■ 当初の中期経営計画

● 25/3期実績と修正後計画  
● 当初の中期経営計画

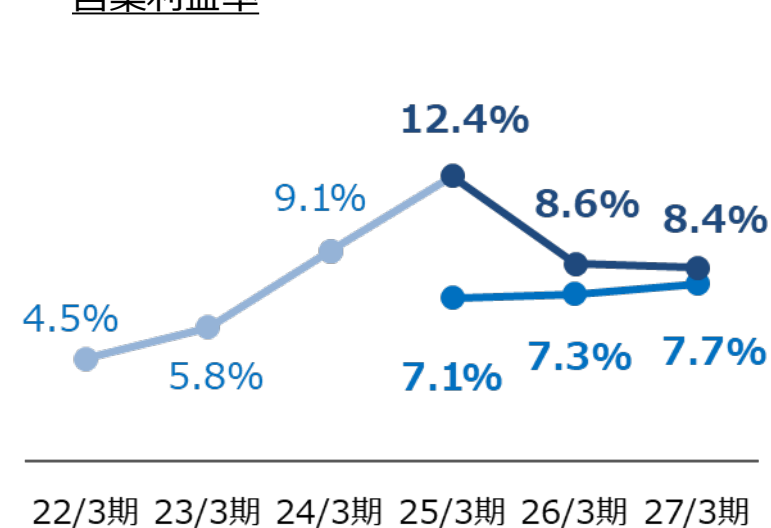
売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



営業利益率



#### 市場動向

- 代替建造とカーボンニュートラルを背景とした大建造時代の到来予想。
- 中国製高性能ジャイロコンパスの台頭。
- 中長期の海運市場テーマ：省エネ、省力化、安全運航、安定運航の向上策として、自動運航船の実現。

#### 事業方針

- ジャイロコンパス、オートパイロットのトップシェアの維持、向上。
- 航海計器の枠を超えた、新たな製品で新規市場を開拓。
- 自動運航船の実現に向けた開発体制の構築。

#### 重点施策

- 製品技術の進化と拡大：
  - ・ 大建造時代に向けた収益拡大の準備：コスト競争力の強化、販売製品の拡充、DXによる業務変革。
  - ・ 自動操船技術コンセプトの実現。
- 持続的成長を実現する人材育成：
  - ・ イノベーション人材、グローバルリーダー、経営人材の創出。
  - ・ エキスパート人材創出に繋がる職場勉強会・改善活動の実施。

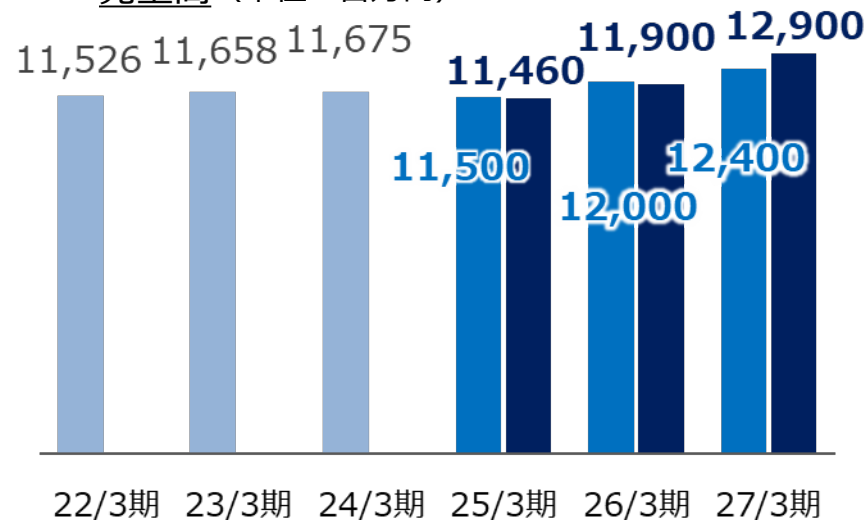
## セグメント別事業計画進捗

### 油空圧機器事業

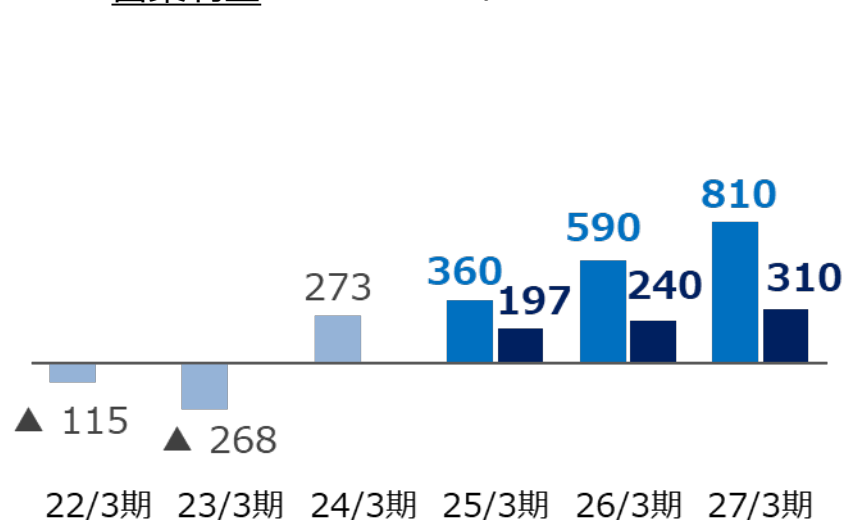
- 高付加価値製品の販売拡大により、営業利益率を改善していく
- 生産工場の再編を推進し、原価率の低減を行う

■ 25/3期実績と修正後計画  
■ 当初の中期経営計画

売上高 (単位：百万円)

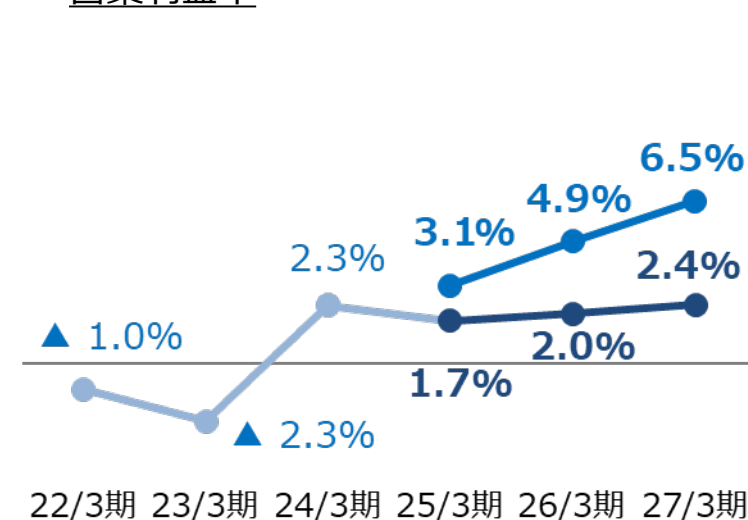


営業利益 (単位：百万円)



営業利益率

● 25/3期実績と修正後計画  
● 当初の中期経営計画



#### 市場動向

- 産業機械市場は下期以降の需要回復に期待。
- 当社が得意とする特装車の需要回復に期待。
- 海外市場は2024年度と同程度の需要を見込む。
- カーボンニュートラルに向けた水素社会の到来。

#### 事業方針

- 既存事業を強化し、稼ぐ力を復活。
- 新たなテクノロジーで事業創出に挑戦。
- 生産体制の最適化によるトータルコストダウンの推進。
- 高付加価値製品による収益力の向上。
- 水素・エネルギー事業の進展。

#### 重点施策

- 産業機械向け機器の収益性向上：
  - ・市場の選択と集中、及び販売価格の適正化。
  - ・生産の自動化／省力化の推進。
  - ・ベトナム工場の拡張と生産移管の推進。
- 建設機械用電子機器の開発と市場投入。
- 水素圧縮装置に加え、小型水素ステーションの販売。

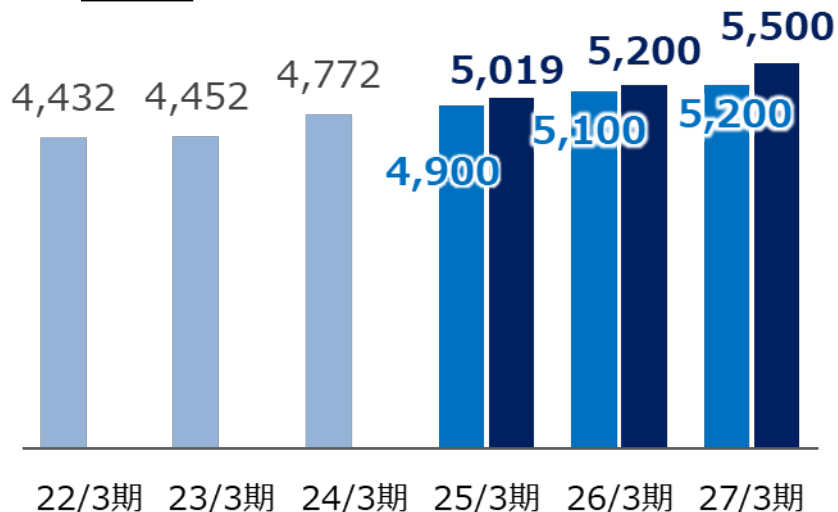
## セグメント別事業計画進捗

### 流体機器事業

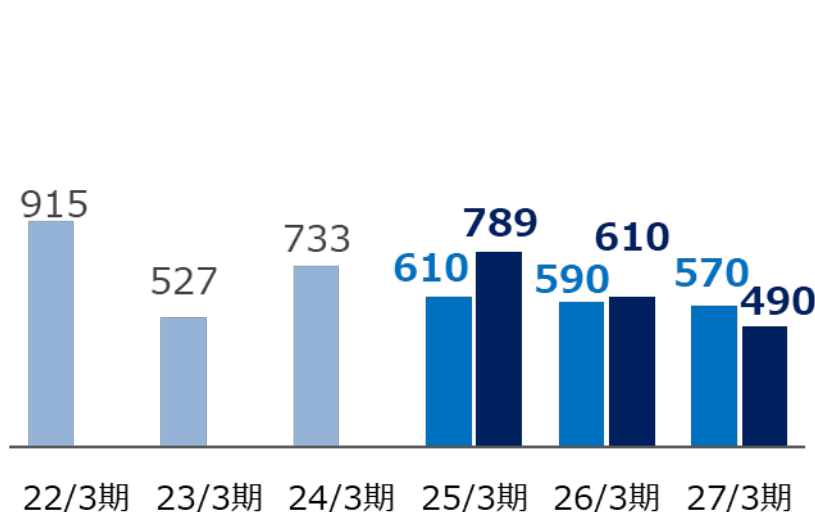
■ 安定した収益を確保しつつ、中長期の成長につながる施策の実施

■ 25/3期実績と修正後計画  
■ 当初の中期経営計画

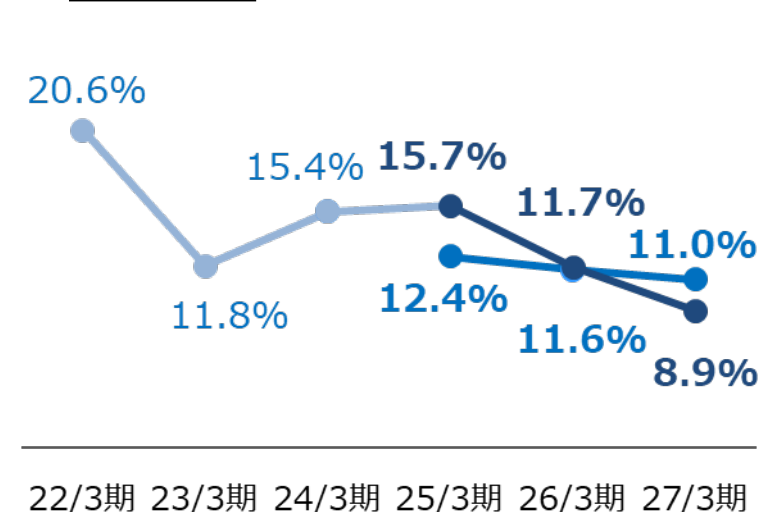
売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



営業利益率



	市場動向	事業方針	重点施策
計測機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>水インフラ老朽化による更新需要がある一方、人口減少に伴う広域連携による施設の統廃合が行われることから更新需要に濃淡。</li> <li>気候変動に伴う河川氾濫の増加や、水災害の激甚化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>官需市場での売上・利益の確保。</li> <li>民需市場及び海外市場での売上拡大。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高精度超音波流量計などの高付加価値製品の拡販。</li> <li>新型流量計や新型レベル計の開発及び市場投入。</li> <li>海外市場の販売網整備によるシェア拡大。</li> </ul>
消火設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>容器弁点検需要のピークアウト。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型案件の受注による売上拡大。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型案件に対応するための人材育成の推進、組織力の強化。</li> </ul>



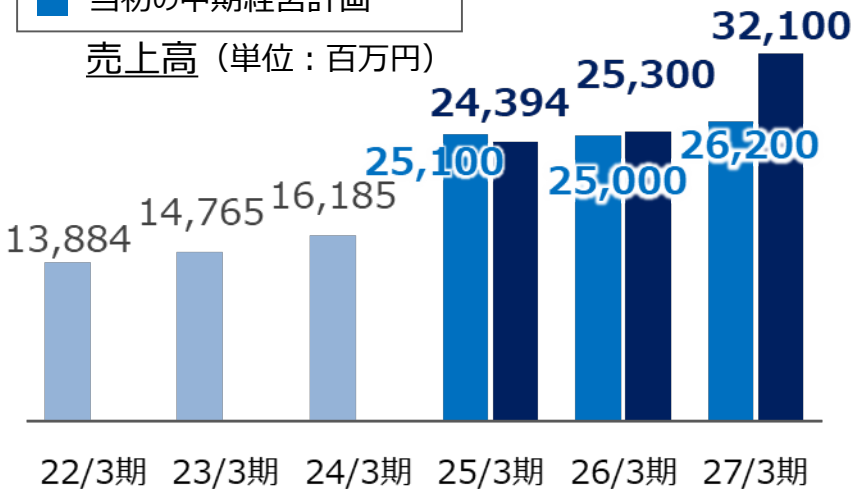
## セグメント別事業計画進捗

### 防衛・通信機器事業

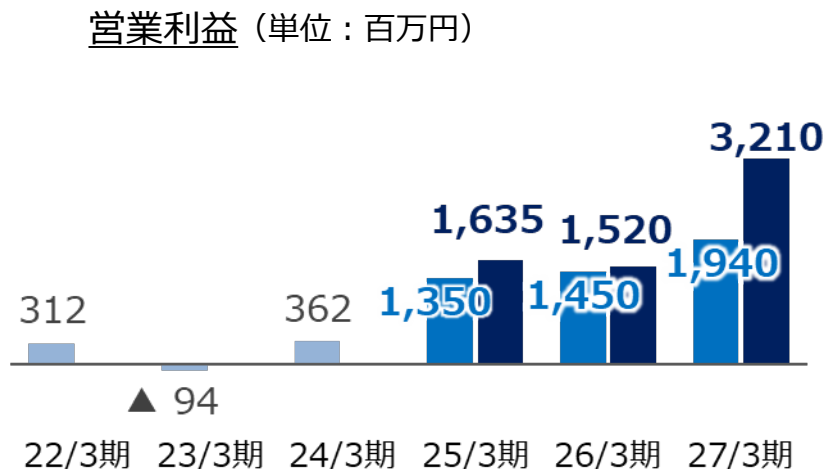
- 防衛事業は受注増に対応し、将来に向けた研究開発も行う
- 通信機器事業は、収益の安定化とともに成長投資を継続する

■ 25/3期実績と修正後計画  
■ 当初の中期経営計画

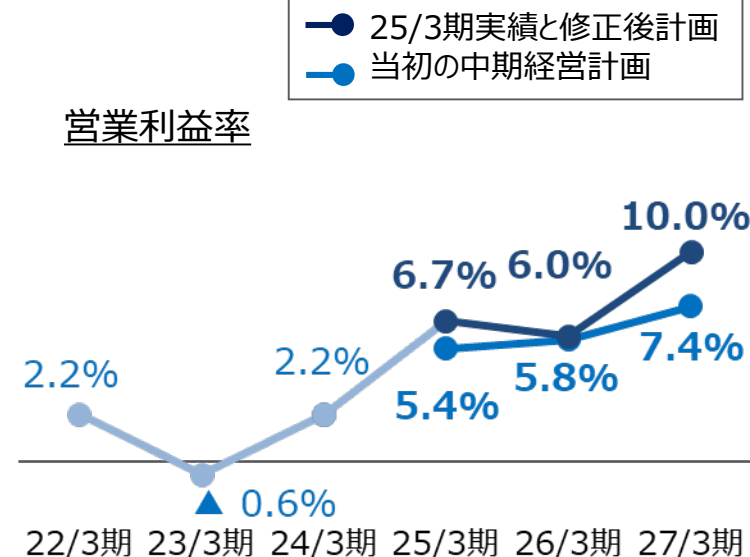
売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



営業利益率



	市場動向	事業方針	重点施策
防衛	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防衛省から2027年度までの5年間で新たに必要となる事業に関わる契約規模が43.5兆円と発表。</li> <li>● 既存品の部品や修理案件の予算執行、及び新規開発案件の推進が期待。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受注増加に対応した、確実な生産体制の確保と、新規案件の研究開発・提案による事業領域の拡大。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防衛省の利益改善施策への対応。</li> <li>● 新慣性センサー (FOG、HRG) 製品の研究開発と提案。</li> <li>● 次期戦闘機への参入に向け、営業活動を継続。</li> </ul>
海上交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国交省の「新たな時代における船舶交通をはじめとする海上の安全のための取組 (第5次交通ビジョン)」により、海上交通安全対策が推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海上交通監視 (VTS) レーダーなど、船舶航行の安全・安心を世界に提供するメーカーとなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外におけるSeaKu (VTSレーダー) 販売活動の強化。</li> <li>● 国内におけるVTS関連事業の強化と拡大。</li> </ul>
通信機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全保障体制強化のための小型衛星コンステレーションの活用促進。</li> <li>● 労働力不足による、自動化、省力化の社会的要請の高まり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コア技術を活かし、新しいビジネスや製品開発に挑戦。</li> <li>● センサー技術の競争力を高め、スマート農業の進展に貢献。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人工衛星組立や衛星搭載機器などの宇宙事業を発展・拡大。</li> <li>● 農機向け新製品の開発により、スマート農業に関する売上を拡大。</li> </ul>

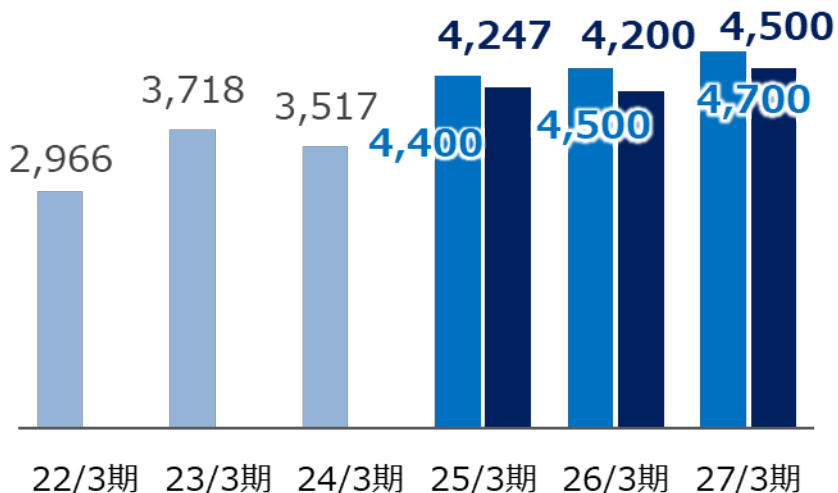
## セグメント別事業計画進捗

### その他の事業（鉄道機器、検査機器）

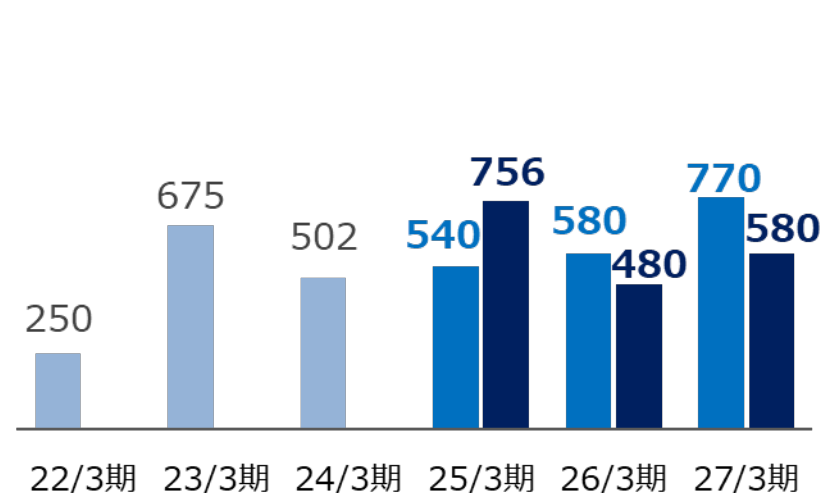
- 新製品の開発・拡販により安定した収益の確保を目指す。

■ 25/3期実績と修正後計画  
■ 当初の中期経営計画

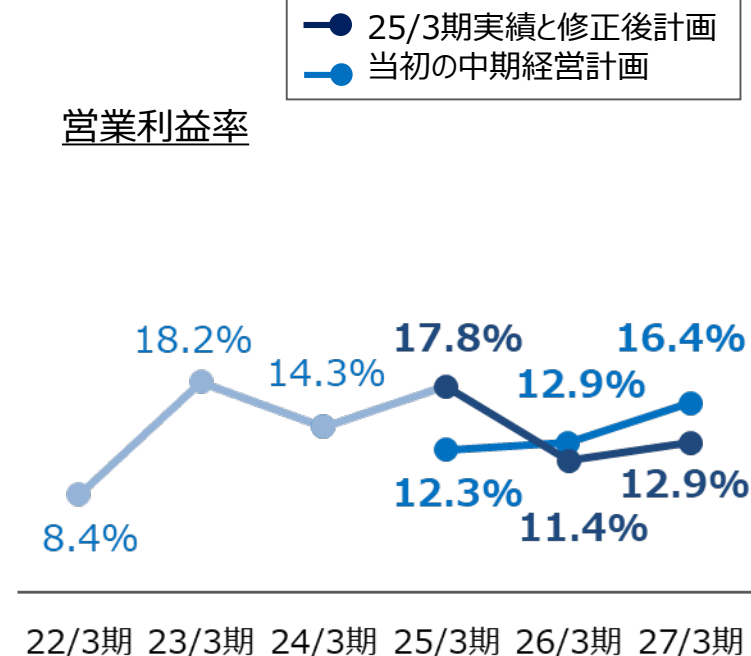
売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円）



営業利益率



	市場動向	事業方針	重点施策
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動運転の開発や保守作業のデジタル化・省力化など、コスト削減の取り組みが進行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 客先ニーズを深堀し、「新製品開発戦略」を推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新製品の開発及び市場投入。</li> <li>● 軌道検査省力化システムの拡販。</li> </ul>
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内市場は人手不足が深刻化し、検査工程の自動化／標準化という付加価値を有する検査装置の要求が増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AI技術を検査機器に応用し、製造現場の顧客要求に応える製品群を提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グラビア軟包材市場以外への販路拡大。</li> <li>● 製袋検査装置、版照合システムなど応用製品の開発と販売。</li> </ul>



## 資料の内容

---

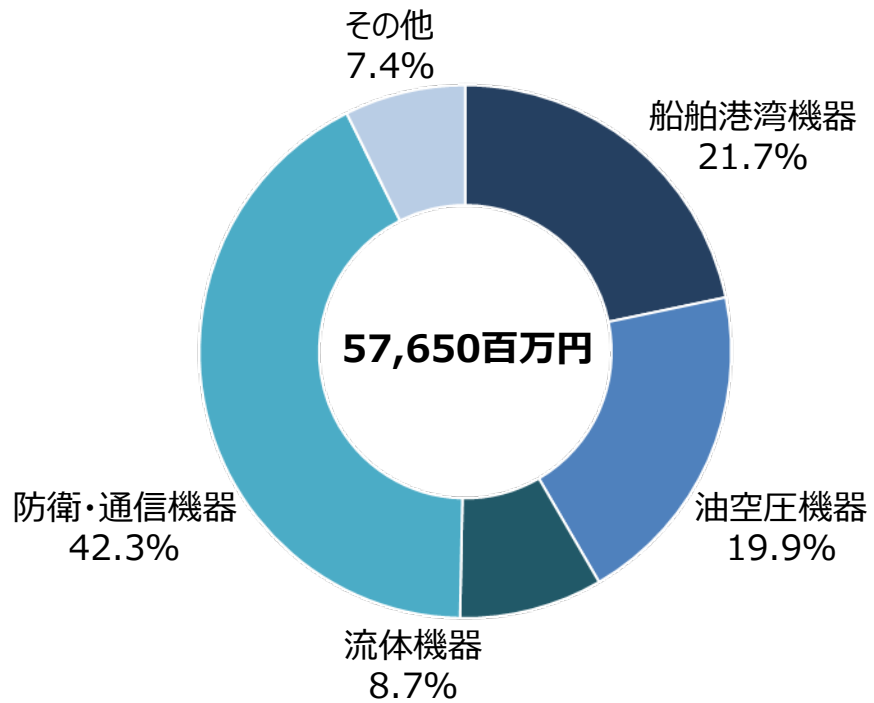
1. 2025年3月期決算概要
2. 2026年3月期計画 及び中期経営計画進捗

### <ご参考資料>

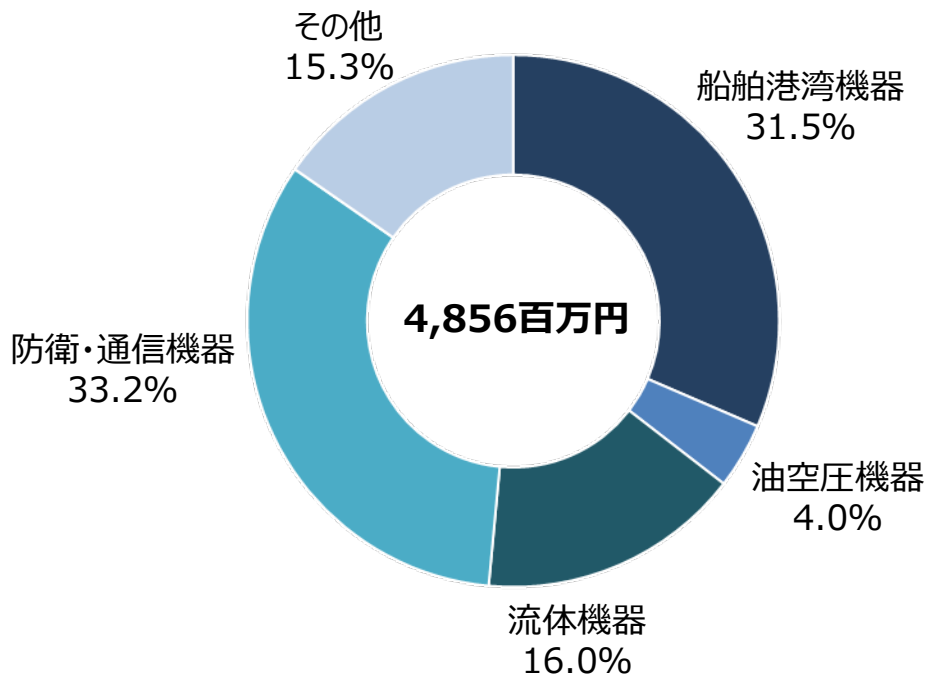
- **業績推移**
- 事業紹介

# 2025年3月期 売上高・営業利益 セグメント比率

### 売上高



### 営業利益

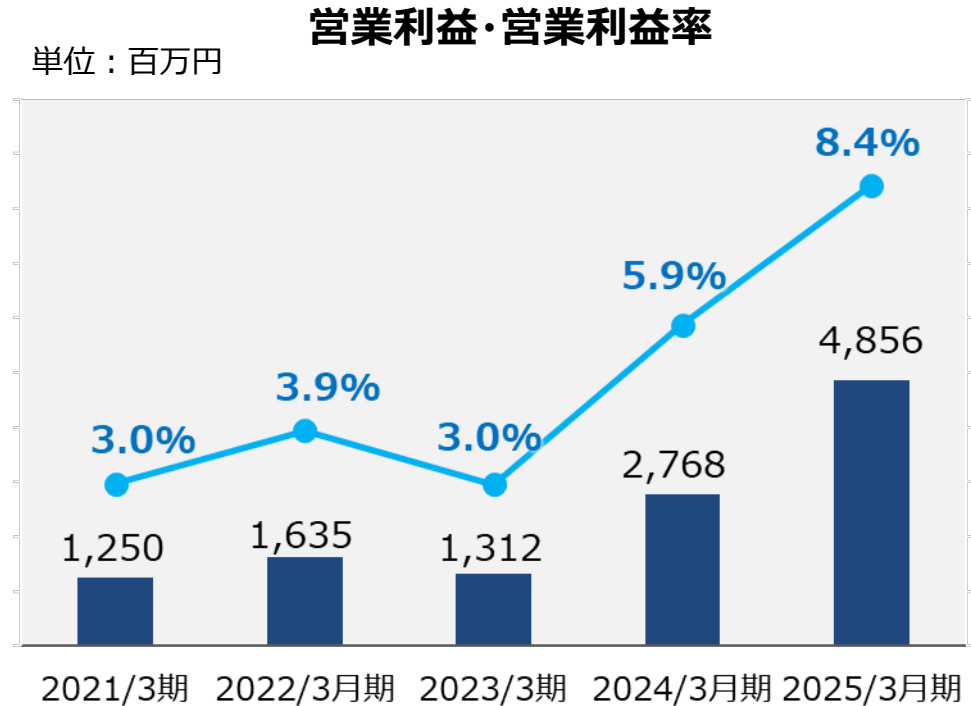
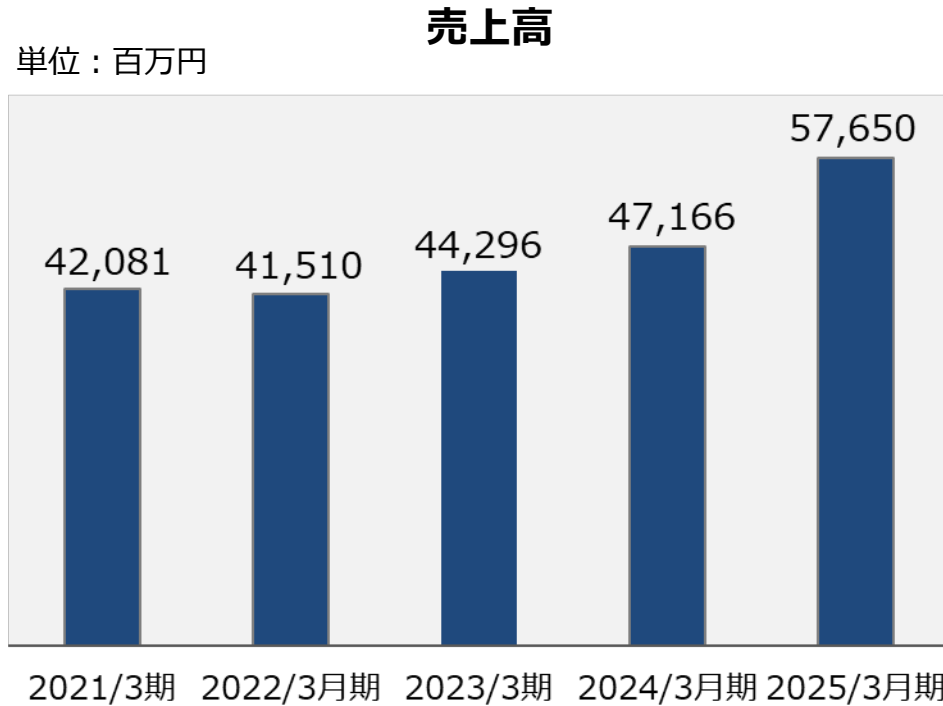


### 事業特性

- 流体機器、防衛・通信機器、その他事業の鉄道機器は、事業の特性上、下期に売上・利益が偏重。
- 油空圧機器は、業績が景気に左右される。

(売上高・営業利益のセグメント比率は調整前)

## 売上高・営業利益推移

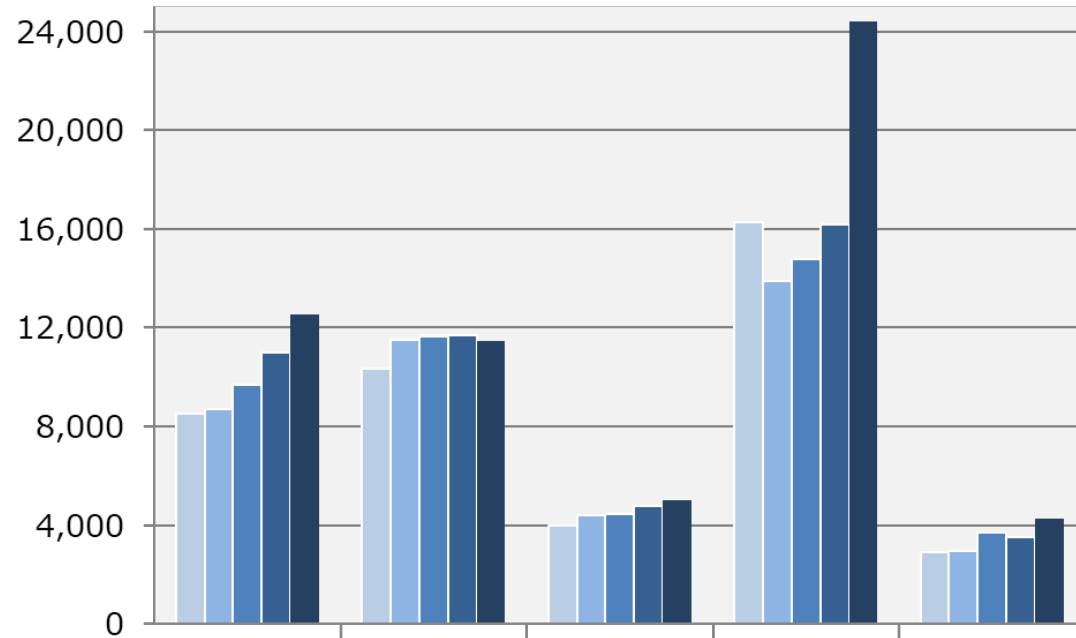


単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	42,081	41,510	44,296	47,166	<b>57,650</b>
営業利益	1,250	1,635	1,312	2,768	<b>4,856</b>
経常利益	1,458	1,926	1,687	2,990	<b>5,001</b>
当期純利益	945	1,493	873	2,277	<b>3,797</b>
営業利益率	3.0%	3.9%	3.0%	5.9%	<b>8.4%</b>

# セグメント別 売上高・営業利益推移

## 売上高

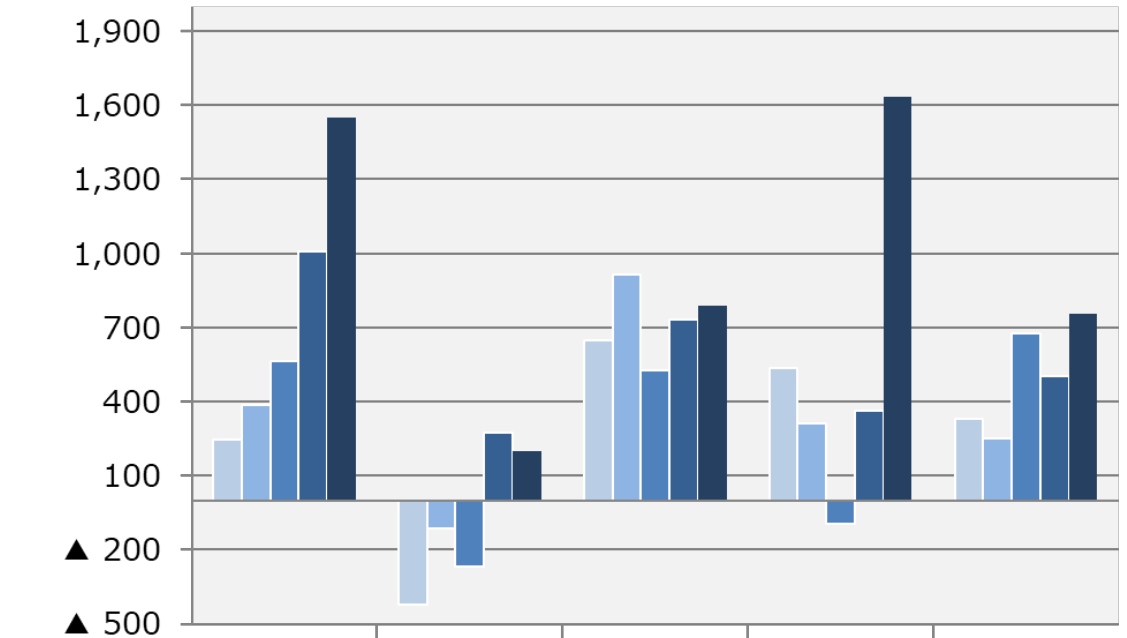
単位：百万円



期	船舶港湾	油空圧	流体	防衛・通信	その他
21/3期	8,522	10,351	4,003	16,281	2,924
22/3期	8,700	11,526	4,432	13,884	2,966
23/3期	9,700	11,658	4,452	14,765	3,718
24/3期	11,016	11,675	4,772	16,185	3,517
25/3期	12,529	11,460	5,019	24,394	4,247

## 営業利益

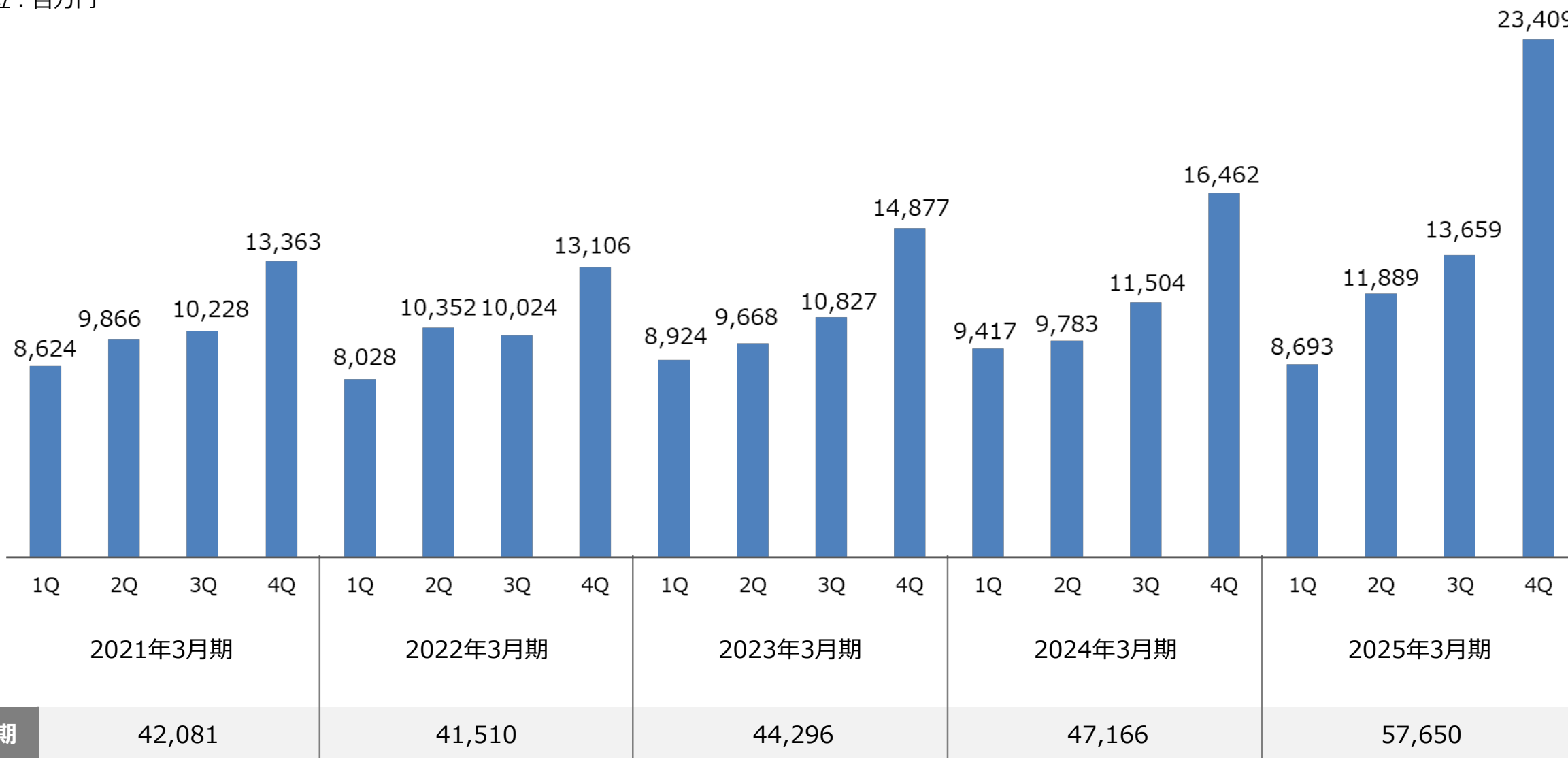
単位：百万円



期	船舶港湾	油空圧	流体	防衛・通信	その他
21/3期	246	▲ 424	647	537	330
22/3期	388	▲ 115	915	312	250
23/3期	565	▲ 268	527	▲ 94	675
24/3期	1,006	273	733	362	502
25/3期	1,551	197	789	1,635	756

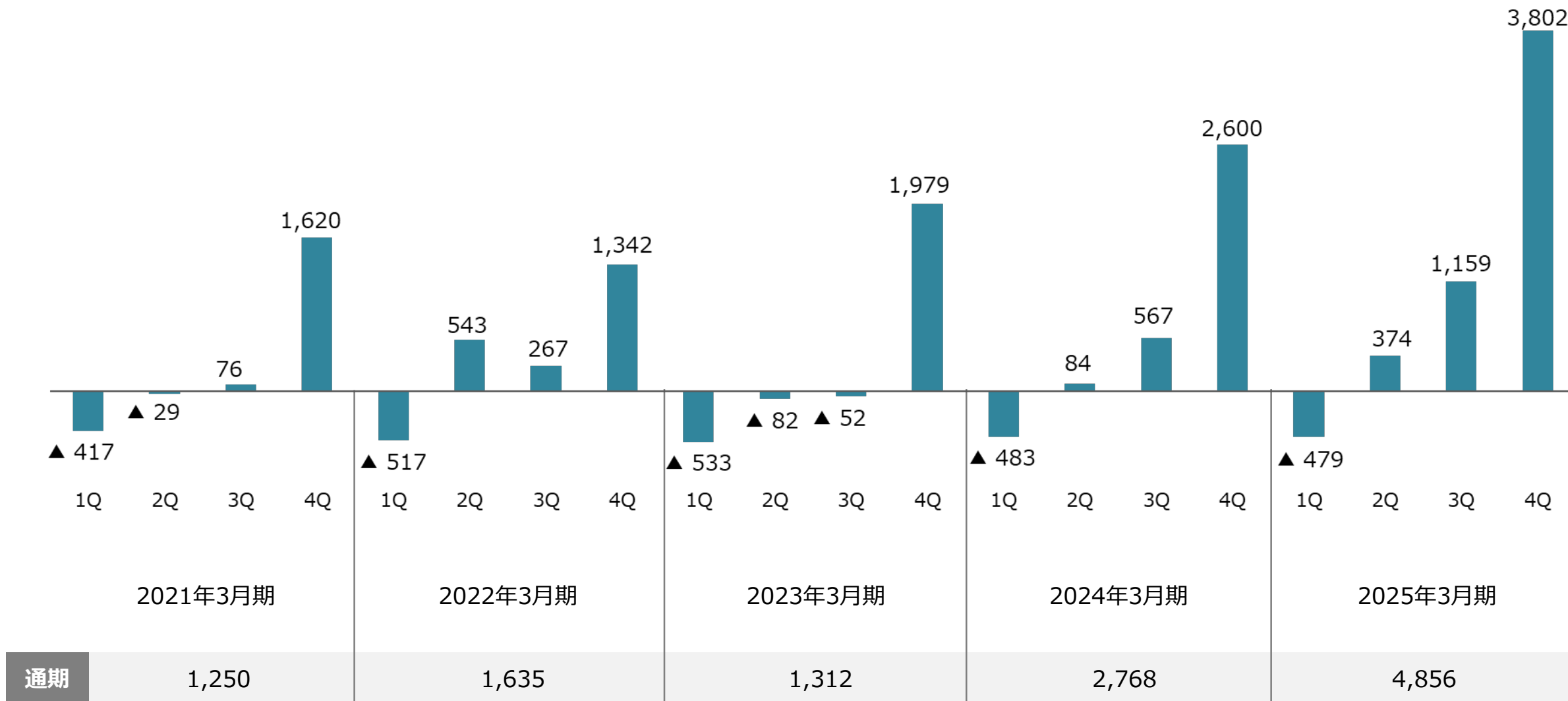
## 四半期 売上高推移

単位：百万円



## 四半期 営業利益推移

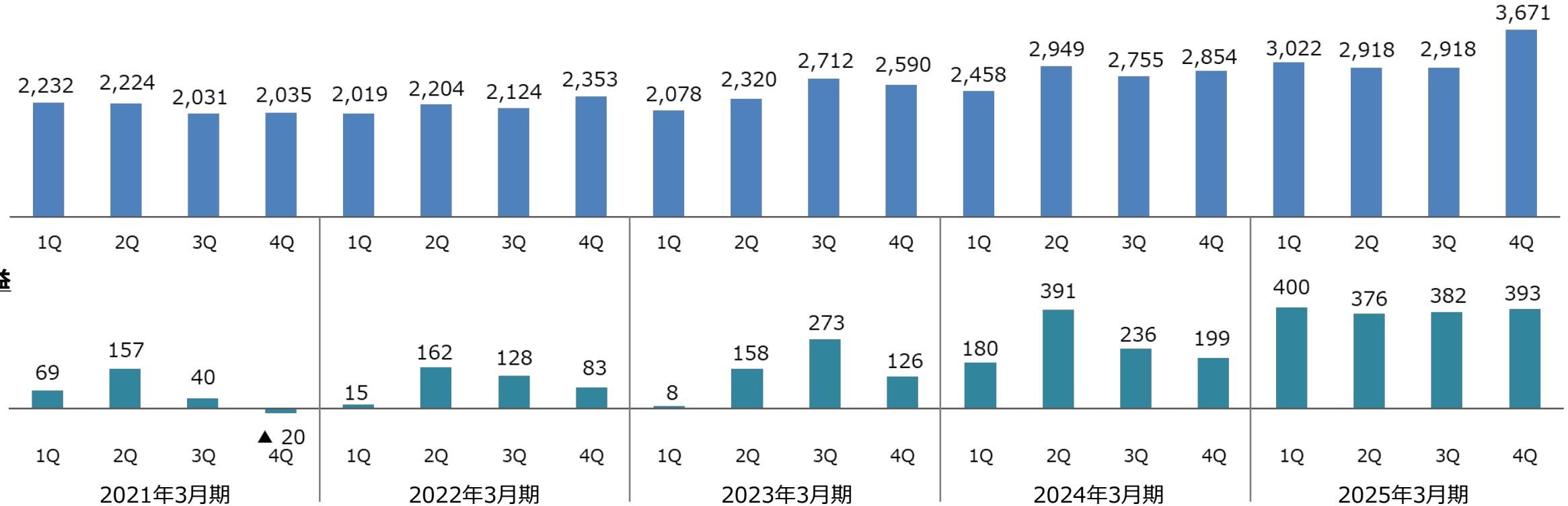
単位：百万円



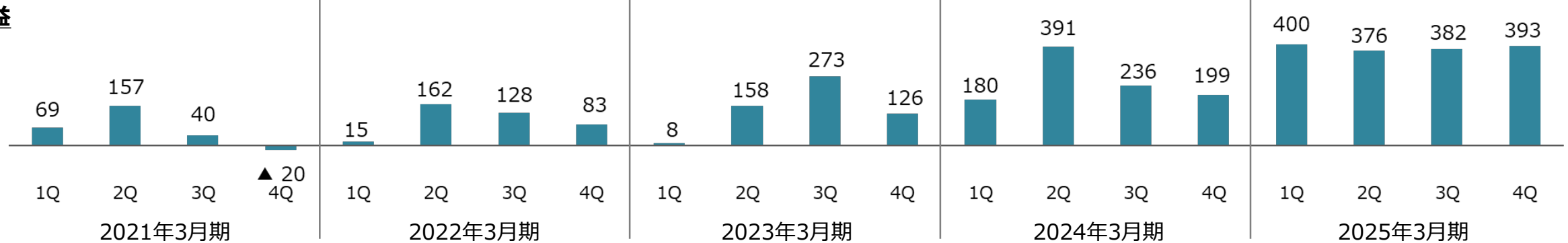
## セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：船舶港湾

単位：百万円

### 売上高



### 営業利益

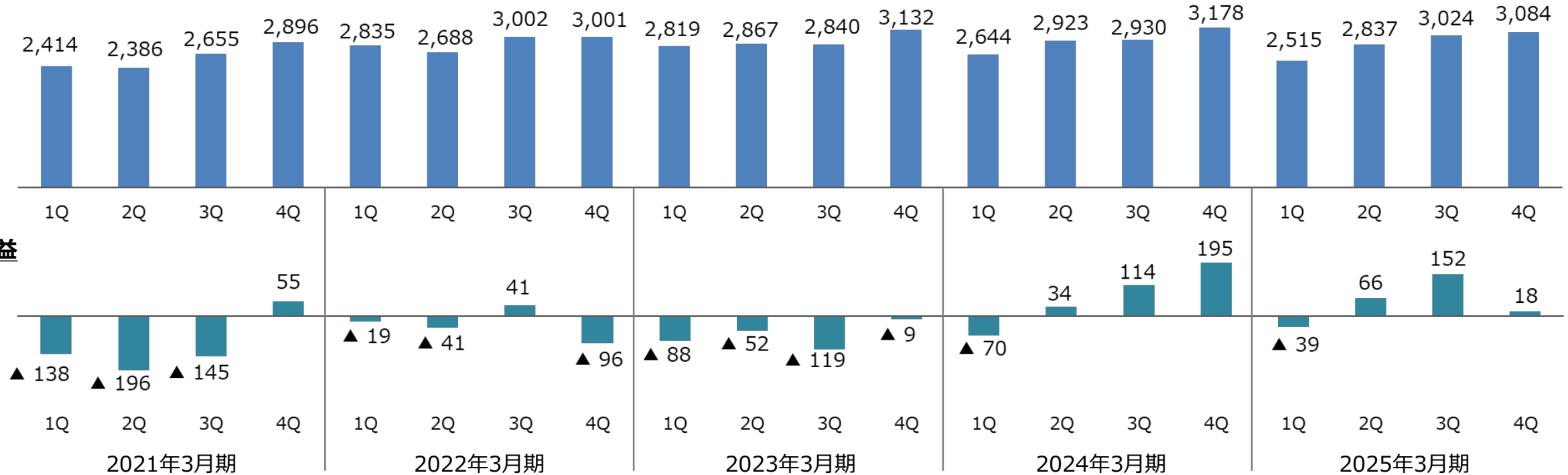


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	2,232	69	2,019	15	2,078	8	2,458	180	3,022	400
2Q	2,224	157	2,204	162	2,320	158	2,949	391	2,918	376
3Q	2,031	40	2,124	128	2,712	273	2,755	236	2,918	382
4Q	2,035	▲20	2,353	83	2,590	126	2,854	199	3,671	393
通期	8,522	246	8,700	388	9,700	565	11,016	1,006	12,529	1,551

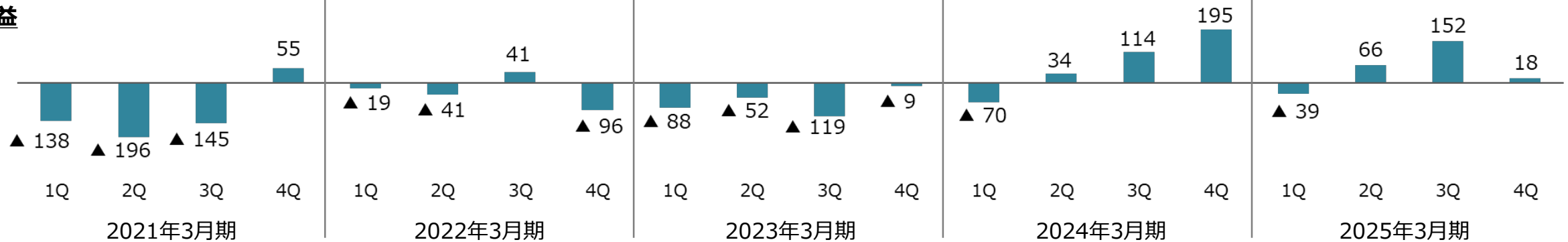
## セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：油空圧

単位：百万円

### 売上高



### 営業利益



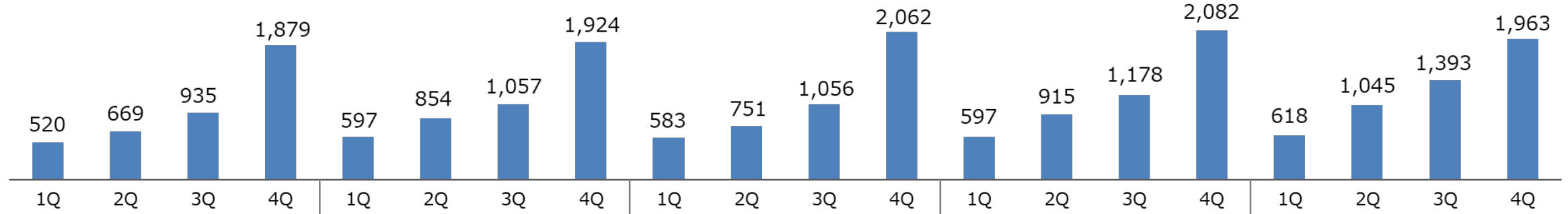
	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	2,414	▲138	2,835	▲19	2,819	▲88	2,644	▲70	2,515	▲39
2Q	2,386	▲196	2,688	▲41	2,867	▲52	2,923	34	2,837	66
3Q	2,655	▲145	3,002	41	2,840	▲119	2,930	114	3,024	152
4Q	2,896	55	3,001	▲96	3,132	▲9	3,178	195	3,084	18
通期	10,351	▲424	11,526	▲115	11,658	▲268	11,675	273	11,460	197



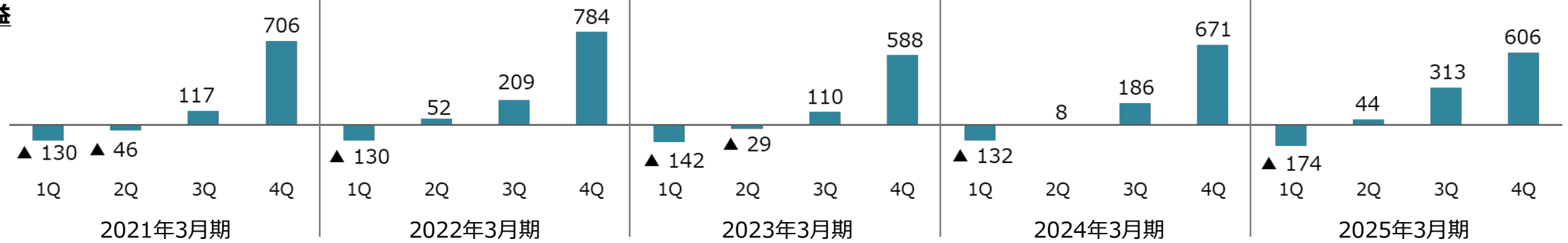
# セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：流体

単位：百万円

## 売上高



## 営業利益

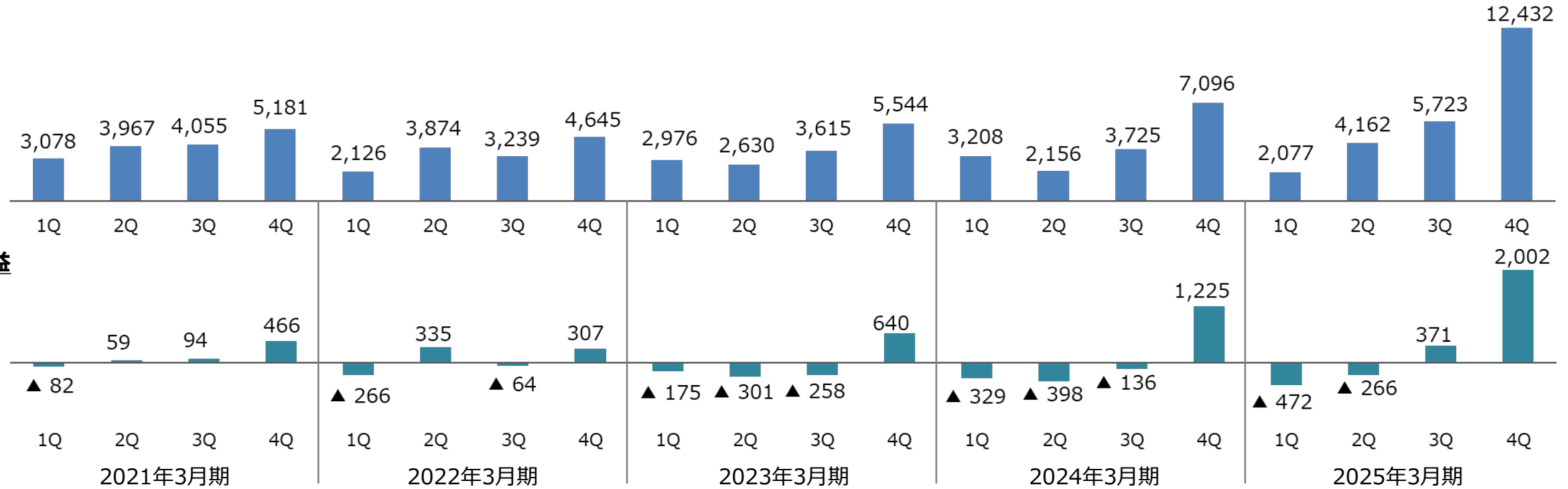


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	520	▲130	597	▲130	583	▲142	597	▲132	618	▲174
2Q	669	▲46	854	52	751	▲29	915	8	1,045	44
3Q	935	117	1,057	209	1,056	110	1,178	186	1,393	313
4Q	1,879	706	1,924	784	2,062	588	2,082	671	1,963	606
通期	4,003	647	4,432	915	4,452	527	4,772	733	5,019	789

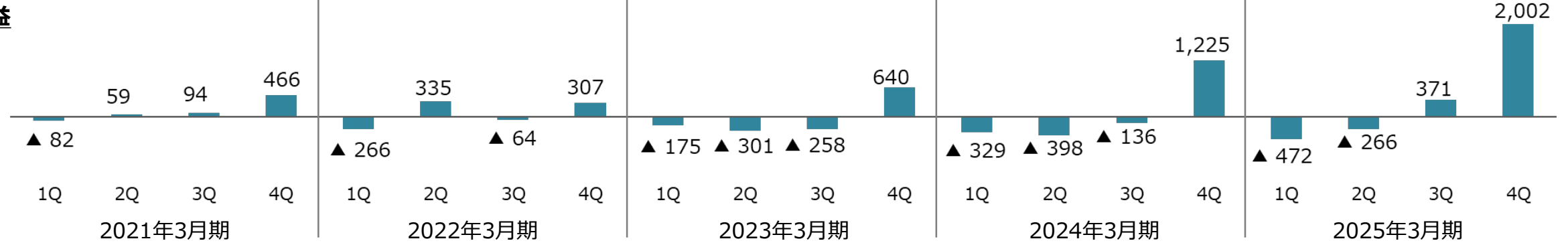
# セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：防衛・通信

単位：百万円

## 売上高



## 営業利益

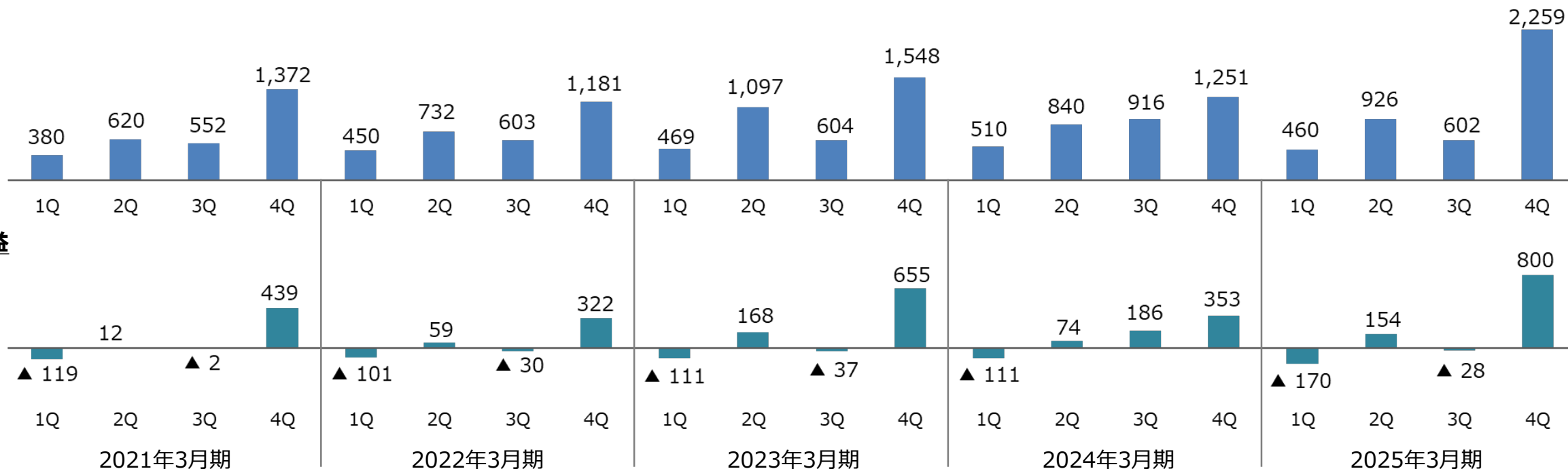


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	3,078	▲82	2,126	▲266	2,976	▲175	3,208	▲329	2,077	▲472
2Q	3,967	59	3,874	335	2,630	▲301	2,156	▲398	4,162	▲266
3Q	4,055	94	3,239	▲64	3,615	▲258	3,725	▲136	5,723	371
4Q	5,181	466	4,645	307	5,544	640	7,096	1,225	12,432	2,002
通期	16,281	537	13,884	312	14,765	▲94	16,185	362	24,394	1,635

# セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：その他

単位：百万円

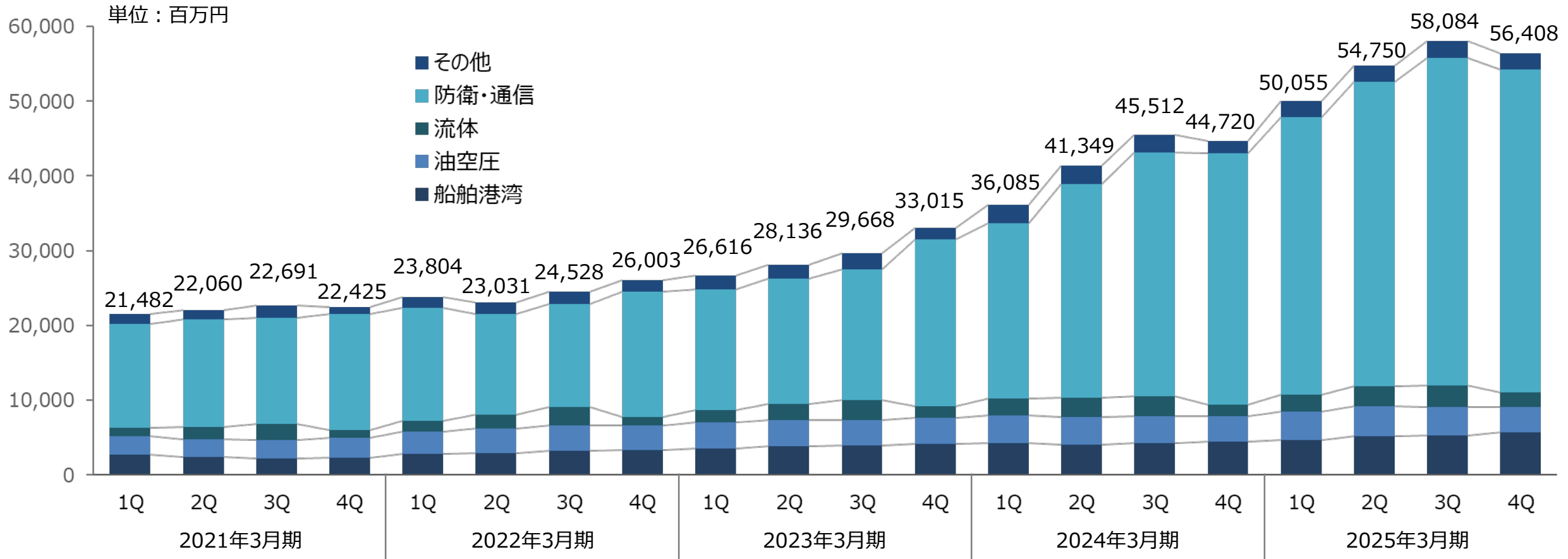
## 売上高



## 営業利益

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	380	▲119	450	▲101	469	▲111	510	▲111	460	▲170
2Q	620	12	732	59	1,097	168	840	74	926	154
3Q	552	▲2	603	▲30	604	▲37	916	186	602	▲28
4Q	1,372	439	1,181	322	1,548	655	1,251	353	2,259	800
通期	2,924	330	2,966	250	3,718	675	3,517	502	4,247	756

## 四半期 受注残高推移

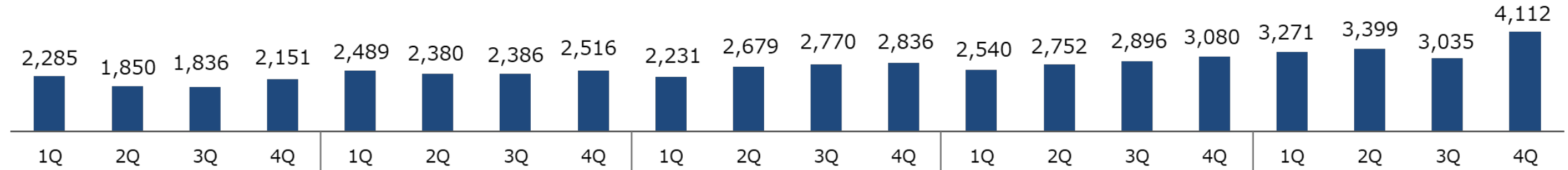


	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
1Q	21,482	23,804	26,616	36,085	50,055
2Q	22,060	23,031	28,136	41,349	54,750
3Q	22,691	24,528	29,668	45,512	58,084
4Q	22,425	26,003	33,015	44,720	56,408

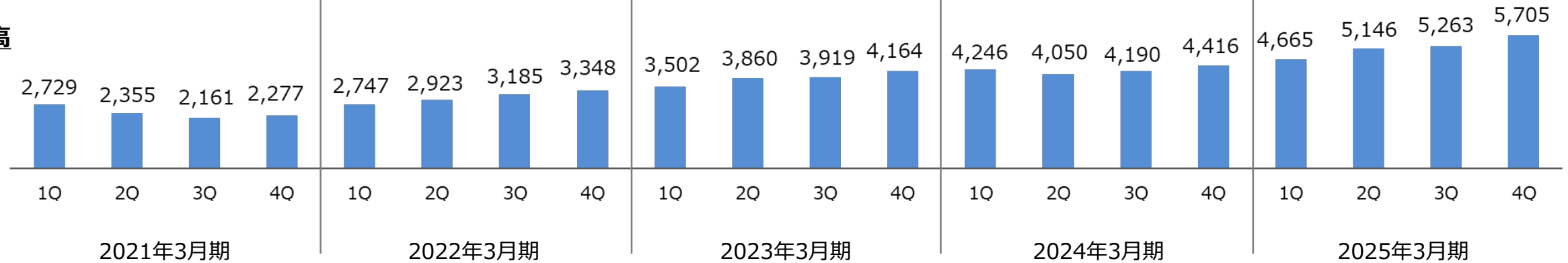
## セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：船舶港湾

単位：百万円

### 受注高



### 受注残高

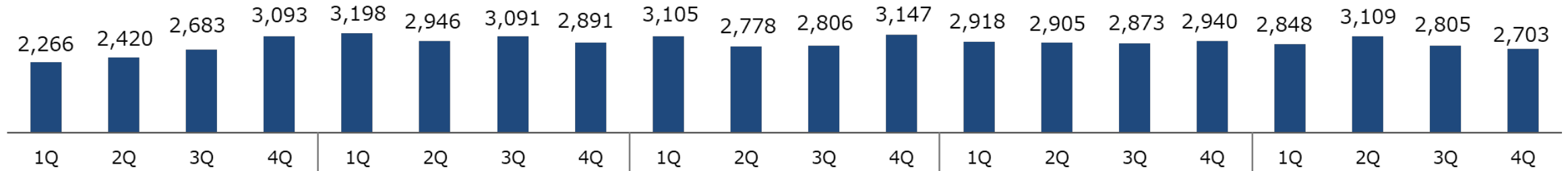


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	2,285	2,729	2,489	2,747	2,231	3,502	2,540	4,246	3,271	4,665
2Q	1,850	2,355	2,380	2,923	2,679	3,860	2,752	4,050	3,399	5,146
3Q	1,836	2,161	2,386	3,185	2,770	3,919	2,896	4,190	3,035	5,263
4Q	2,151	2,277	2,516	3,348	2,836	4,164	3,080	4,416	4,112	5,705
通期	8,123	2,277	9,772	3,348	10,516	4,164	11,268	4,416	13,817	5,705

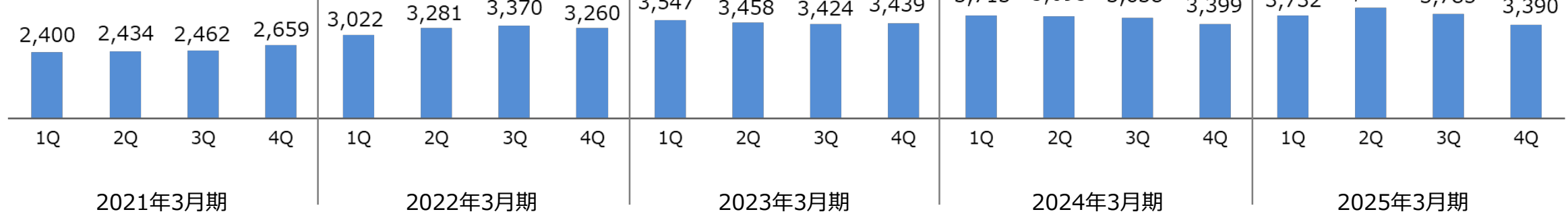
## セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：油空圧

単位：百万円

### 受注高



### 受注残高

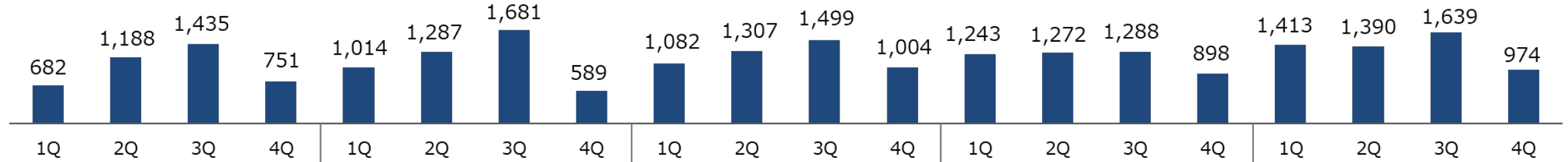


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	2,266	2,400	3,198	3,022	3,105	3,547	2,918	3,713	2,848	3,732
2Q	2,420	2,434	2,946	3,281	2,778	3,458	2,905	3,695	3,109	4,004
3Q	2,683	2,462	3,091	3,370	2,806	3,424	2,873	3,638	2,805	3,785
4Q	3,093	2,659	2,891	3,260	3,147	3,439	2,940	3,399	2,703	3,390
通期	10,463	2,659	12,126	3,260	11,836	3,439	11,635	3,399	11,466	3,390

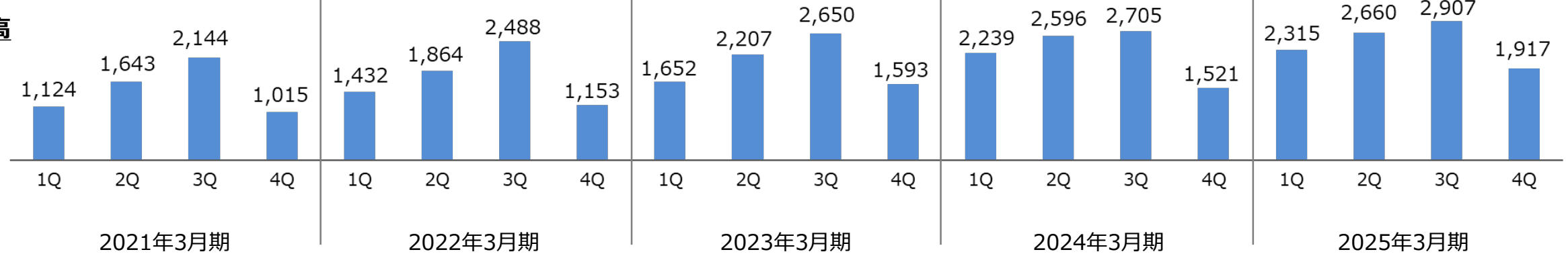
## セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：流体

単位：百万円

### 受注高



### 受注残高

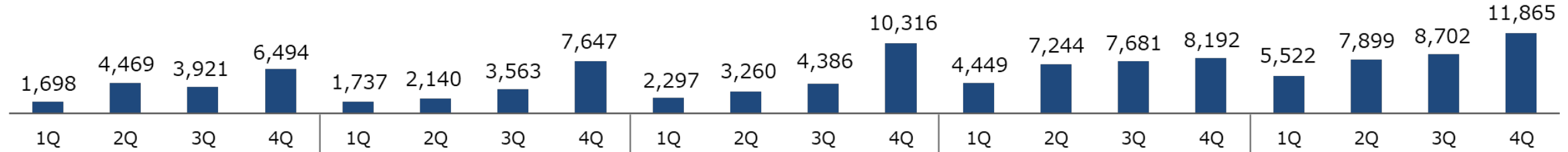


	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	682	1,124	1,014	1,432	1,082	1,652	1,243	2,239	1,413	2,315
2Q	1,188	1,643	1,287	1,864	1,307	2,207	1,272	2,596	1,390	2,660
3Q	1,435	2,144	1,681	2,488	1,499	2,650	1,288	2,705	1,639	2,907
4Q	751	1,015	589	1,153	1,004	1,593	898	1,521	974	1,917
通期	4,055	1,015	4,571	1,153	4,892	1,593	4,700	1,521	5,415	1,917

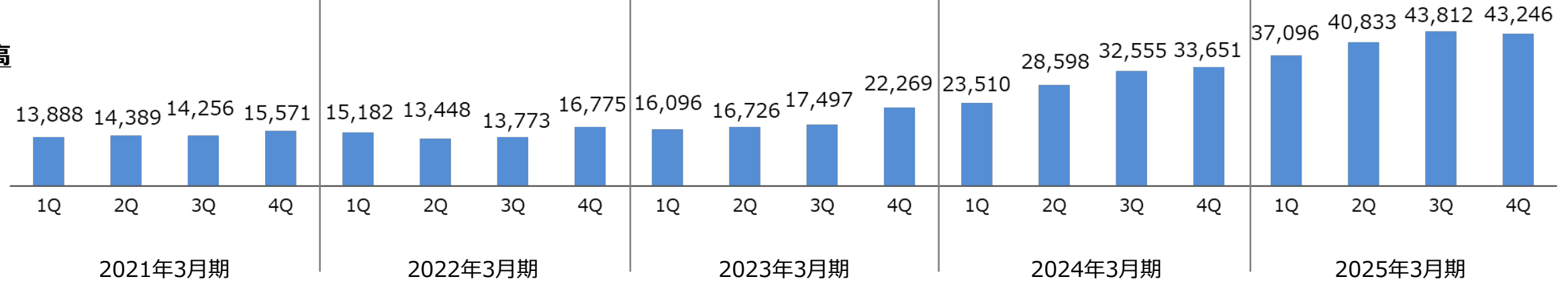
## セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：防衛・通信

単位：百万円

### 受注高



### 受注残高



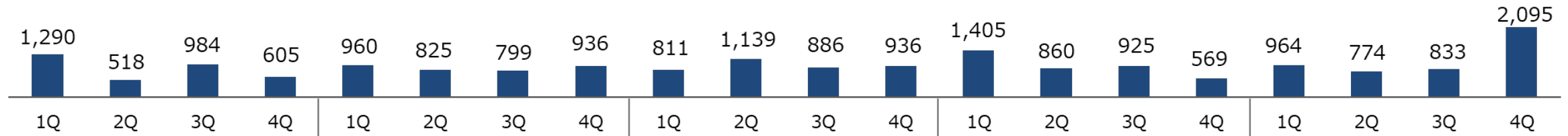
	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	1,698	13,888	1,737	15,182	2,297	16,096	4,449	23,510	5,522	37,096
2Q	4,469	14,389	2,140	13,448	3,260	16,726	7,244	28,598	7,899	40,833
3Q	3,921	14,256	3,563	13,773	4,386	17,497	7,681	32,555	8,702	43,812
4Q	6,494	15,571	7,647	16,775	10,316	22,269	8,192	33,651	11,865	43,246
通期	16,582	15,571	15,088	16,775	20,259	22,269	27,566	33,651	33,988	43,246



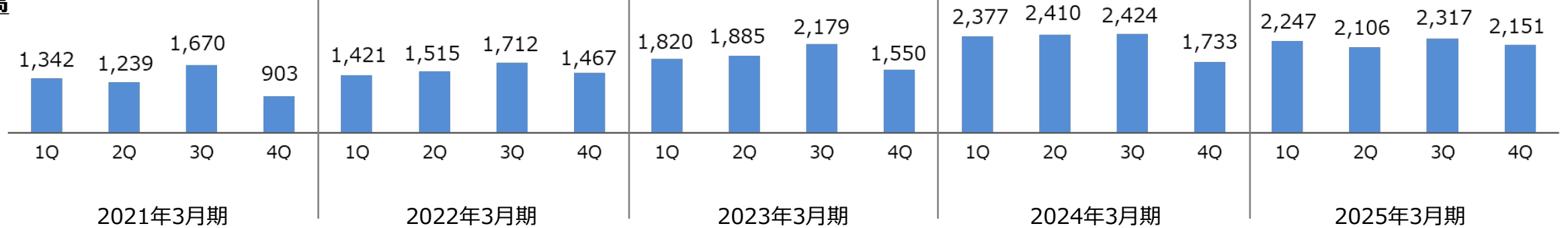
## セグメント別 四半期 受注・受注残高推移：その他

単位：百万円

### 受注高



### 受注残高



	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
1Q	1,290	1,342	960	1,421	811	1,820	1,405	2,377	964	2,247
2Q	518	1,239	825	1,515	1,139	1,885	860	2,410	774	2,106
3Q	984	1,670	799	1,712	886	2,179	925	2,424	833	2,317
4Q	605	903	936	1,467	936	1,550	569	1,733	2,095	2,151
通期	3,398	903	3,520	1,467	3,771	1,550	3,759	1,733	4,666	2,151

## セグメント別 四半期 受注残高推移 一覧表

単位：百万円		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
船舶港湾	1Q	2,729	2,747	3,502	4,246	4,665
	2Q	2,355	2,923	3,860	4,050	5,146
	3Q	2,161	3,185	3,919	4,190	5,263
	4Q	2,277	3,348	4,164	4,416	5,705
油空圧	1Q	2,400	3,022	3,547	3,713	3,732
	2Q	2,434	3,281	3,458	3,695	4,004
	3Q	2,462	3,370	3,424	3,638	3,785
	4Q	2,659	3,260	3,439	3,399	3,390
流体	1Q	1,124	1,432	1,652	2,239	2,315
	2Q	1,643	1,864	2,207	2,596	2,660
	3Q	2,144	2,488	2,650	2,705	2,907
	4Q	1,015	1,153	1,593	1,521	1,917
防衛・通信	1Q	13,888	15,182	16,096	23,510	37,096
	2Q	14,389	13,448	16,726	28,598	40,833
	3Q	14,256	13,773	17,497	32,555	43,812
	4Q	15,571	16,775	22,269	33,651	43,246
その他	1Q	1,342	1,421	1,820	2,377	2,247
	2Q	1,239	1,515	1,885	2,410	2,106
	3Q	1,670	1,712	2,179	2,424	2,317
	4Q	903	1,467	1,550	1,733	2,151

## 資料の内容

---

1. 2025年3月期決算概要
2. 2026年3月期計画 及び中期経営計画進捗

### <ご参考資料>

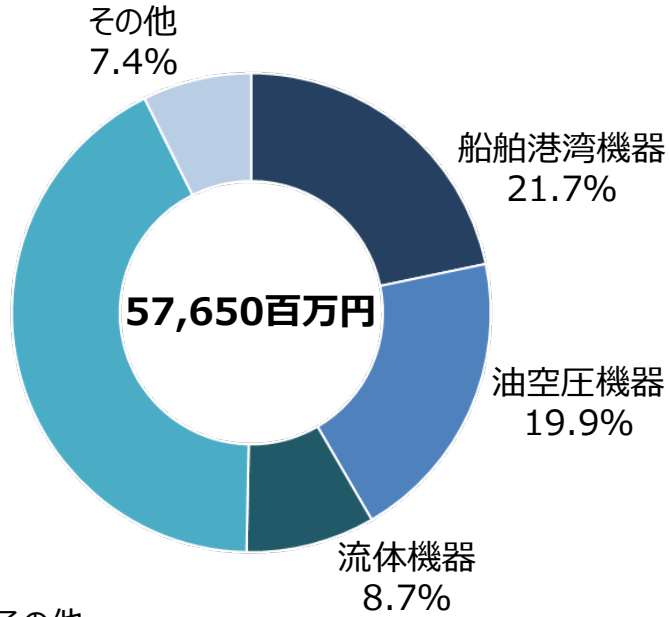
- 業績推移
- **事業紹介**

# 東京計器グループの主要事業紹介

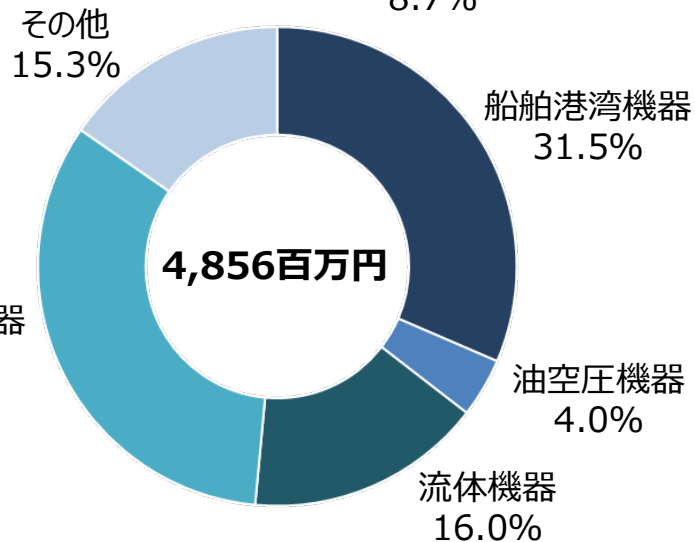
東京計器グループの事業は4つのセグメント及びその他事業に分かれ、その中に11の事業があります。

【2025年3月期】

## 売上高



## 営業利益

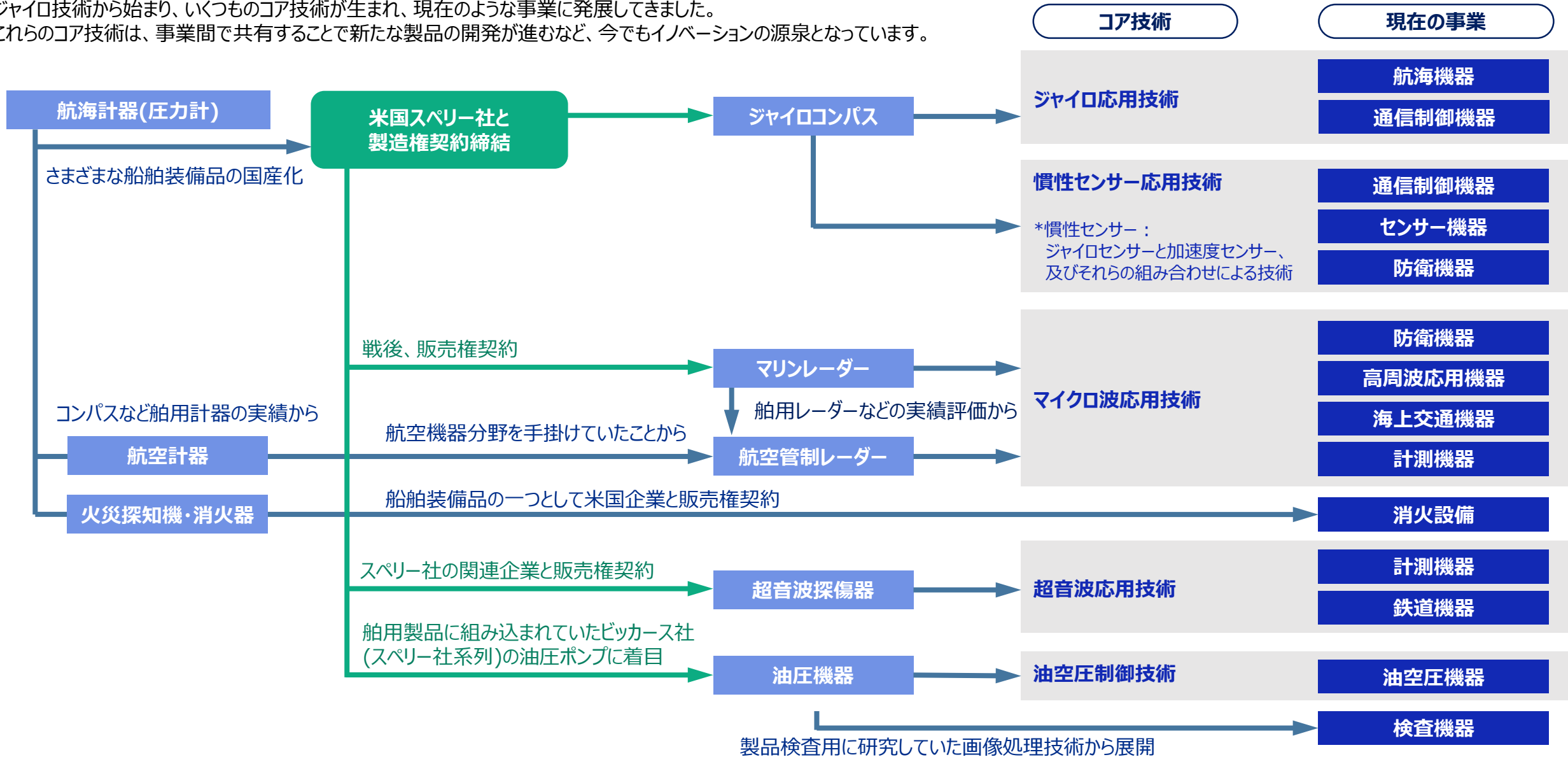


セグメント (4+その他)	事業 (11)
船舶港湾機器事業	■ 航海機器
油空圧機器事業	■ 油空圧機器
流体機器事業	■ 計測機器 ■ 消火設備
防衛・通信機器事業	■ 防衛機器 ■ 海上交通機器 ■ センサー機器 ■ 高周波応用機器 (マイクロ波応用機器) ■ 通信制御機器
その他事業	■ 検査機器 ■ 鉄道機器

(売上高・営業利益のセグメント比率は調整前)

# コア技術創出の歴史

東京計器グループの事業の源は、明治時代、航海計器の開発に遡ります。ジャイロ技術から始まり、いくつものコア技術が生まれ、現在のような事業に発展してきました。これらのコア技術は、事業間で共有することで新たな製品の開発が進むなど、今でもイノベーションの源泉となっています。



航海機器	船舶の安全航行、省エネ操船に貢献	業界シェア
<p>航海機器</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>自動操舵など 操縦系統を担う オートパイロット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>方位を指し示す ジャイロコンパス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>センサー部に定期交換の 必要な可動部分が無い 光ファイバージャイロ (FOG)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海図情報を表示するECDIS (電子海図情報表示装置)</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 操船に必要な航海計器をトータルでラインナップし、グローバルに提供。</li> <li>■ 日本で最初にジャイロコンパスやオートパイロット、レーダーの生産を開始した、航海計器のパイオニア。</li> </ul>	<p>ジャイロコンパス・ オートパイロット</p> <p>世界の商船 <b>6割以上</b></p> <p>国内内航船 <b>8割以上</b></p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>「無人運航船の実現に向けた DFFASプロジェクト」</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ウインドチャレンジャー プロジェクト」</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ジャイロコンパス、オートパイロットのトップ企業として、無人運航船開発プロジェクトやGHG排出削減に貢献する風力推進船プロジェクトに参画。</li> </ul>	

油空圧機器	ものづくり、インフラづくりの現場で活躍	業界シェア
産業機械向け	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>流量や圧力を制御する ポンプ回転数制御システム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工作機械や一般産業機械の 油圧動力源として広く利用 される小形パワーユニット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>あらゆる油圧機器に 用いられる電磁切換弁</p> </div> </div> <p>■ 射出成形機、工作機械、自動車製造用ダイカストマシン等に、省エネ・制御性に優れた油空圧機器を提供。</p>	<p>国内プラスチック 射出成形機用 <b>約4割</b></p>
建設機械向け	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>電気ダイレクト制御ピストンポンプ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コントローラー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ディスプレイ</p> </div> </div> <p>■ 主にクレーン、高所作業車等の特装車向けに油圧製品と駆動を制御する電子機器を提供。</p>	
水素エネルギー活用	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>水素ステーション向け水素圧縮装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>分割モジュール式水素圧縮パッケージ</p> </div> </div> <p>■ 水素ステーション向け油圧式水素圧縮装置や分割モジュール式水素圧縮パッケージを提供。</p>	



計測機器	暮らしと人命を守る：水資源の管理や河川防災で生活の安全に貢献	業界シェア
<p>流量・水位 監視</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>上水、農業用水、工業用水の監視等に使用される超音波流量計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>簡単取付・簡単設定の超音波流量計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>食品工場や石油タンクなどのプラントでも活躍する電波レベル計</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 超音波流量計を世界で初めて実用化したパイオニア。</li> <li>■ 超音波流量計は、上下水道や農業用水配管網の流量監視で活躍。</li> </ul>	<p>国内上下水道、農業用水向け</p> <h2 style="color: blue;">6割以上</h2>
<p>国土防災</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>河川の水位上昇をいち早く知らせる危機管理型水位計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下水がマンホールから溢れ出ることによる都市水害の危険を知らせる溢水対策水位計</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電波レベル計を利用したシステムで、相次ぐ河川氾濫や都市水害から人命を守る。</li> </ul>	
<p>消火設備</p>	<p style="text-align: center;"><b>火災から守る：ガス系消火設備が水濡れ厳禁の施設で活躍</b></p>	
	<div style="text-align: center;">  <p>水・泡消火が適さない印刷機械などを有する工場施設、オフィスビル、美術館、博物館、立体駐車場などで活躍するガス系消火設備</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本で初めて不活性ガス消火設備を手掛けて以来、各種ガス系消火設備で暮らしの安全に貢献。</li> </ul>	



# 防衛・通信機器事業

防衛機器	国防に貢献： マイクロ波応用技術や慣性センサー技術が強み	業界シェア
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>◀ 写真提供： イカロス出版/赤塚聡</p>  </div> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>航空機を取り巻く電波を瞬時に分析し、危険なレーダー照射などの警報を発するレーダー警戒装置</p> <p>GPSなどを利用した方位測定ができない潜水艦などに搭載される高精度のリングレーザージャイロを用いた慣性航法装置</p> <p>航空機の高度、速度などを計算する対気諸元計算装置（ADC）ブルーインパルス機体にも搭載</p> <p>■ 防衛市場向けの航空機搭載用電子機器や艦艇向け航法装置などの開発・生産・修理保守。</p>	
海上交通機器	船の安全航行に貢献：“海の管制塔”ともいえる海上交通システムを提供	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>東京湾「海ほたる」に設置された海上監視レーダー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>全国7か所の港湾に設置された海上交通センターの管制業務を担うVTSシステム</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>*1 AIS：Automatic Identification System 船舶間や船舶と航行援助施設などとの間で情報交換を行うシステム</p> <p>*2 VTS：Vessel Traffic Services 船舶通航業務</p> </div> </div> <p>■ 混雑する海上交通路の管制業務に必要な、「海上監視レーダー」や「AIS*1情報管理装置」といったVTS*2システムを提供。</p> <p>■ 欧州の湾岸や河川向けにもVTS用レーダーを納入。</p>	<p>全国海上交通センターのVTSシステム</p> <p><b>100%</b></p>

## 防衛・通信機器事業

センサー機器	慣性センサーや制御技術の組み合わせでスマート農業や防災システムに貢献	業界シェア
 <p>震度測定に不可欠な地震加速度計</p>	 <p>農作業の負担軽減のための農業機械向け直進自動操舵補助装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ジャイロ技術、慣性センサー、独自のソフトウェア技術が結集したトラクタ直進自動操舵補助装置でスマート農業を推進。</li> <li>■ 気象庁向け地震計に使用される加速度計で国土防災に貢献。</li> </ul>	<p>気象庁向け地震計用加速度計 <b>約8割</b></p>
高周波応用機器	マイクロ波応用技術を駆使し、半導体製造装置部品や宇宙ビジネスなどの先進産業に参入	
 <p>次世代半導体の製造装置などに使用されるソリッドステートマイクロ波電源</p>	 <p>©Synspective Inc. マイクロ波増幅器が搭載された観測衛星（SAR衛星）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ソリッドステートマイクロ波電源を半導体製造装置に搭載することで、半導体の微細化を実現。</li> <li>■ 観測衛星から地表に向けて発するレーダー信号を増幅させるマイクロ波増幅器を提供。</li> </ul>	
通信制御機器	ジャイロセンサー、加速度計、磁気方位センサーなどの技術を放送品質向上に活用	
 <p>ヘリコプターの位置と姿勢方位を絶えず把握のうえ、中継アンテナを常に受信局に向けるよう制御し、途切れなく映像を伝送するアンテナ自動指向装置</p>	 <p>放送局の報道ヘリや、国内の主要なマラソン・駅伝中継などで、中継車に搭載されるカメラ防振装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 放送局の報道ヘリや中継車に搭載された姿勢制御装置により、安定した映像送信を実現。</li> <li>■ 国内TV局の報道ヘリに搭載されているアンテナ自動指向装置により、空撮映像の確実な送信を実現。</li> </ul>	<p>国内TV局の報道ヘリに搭載されるアンテナ自動指向装置 <b>9割以上</b></p>

## その他事業（検査・鉄道）

検査機器	印刷の品質向上に貢献：高精度な画像処理技術で印刷や素材のトラブルを検出	業界シェア
 <p>印刷の不良率の削減と印刷品質の確保を実現する印刷品質検査装置</p>  <p>フィルム、不織布、金属箔などの無地素材の生産加工不良や異物混入などを検出する素材検査装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自社開発のチップで、高速リアルタイム画像処理を実現。</li> <li>■ 印刷ミスや異物混入を自動で高速に探知し、作業効率向上や材料のムダ排除を促進。</li> </ul>		<p>業界シェア</p> <p>軟包材向けグラビア印刷機向け <b>国内トップシェア</b></p> <p>軟包材： プラスチックフィルム、紙、アルミ фольドールなどのような薄い柔軟性のある材料で構成されている包装材</p>
鉄道機器	鉄道の安全運行に貢献：超音波技術を鉄道保線に活用	
 <p>レール内部の傷に対し、超音波探傷による非破壊検査を行うレール探傷車</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ レール探傷器や分岐器検査装置などの測定機器及び検測役務で、鉄道保線業務を支える。</li> </ul>	 <p>複数種の軌道材料の状態を自動で検査・判定する軌道検査省力化システム</p>  <p>分岐器内のレールやクロッシングの摩耗量、軌道変位などを同時に測定できる分岐器検査装置</p>	<p>JR各社・国内民営鉄道向け 超音波レール探傷車 <b>7割以上</b></p>

## 将来情報に係るご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。本資料ご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

### 本資料に関するお問い合わせ先

東京計器株式会社 コーポレート・コミュニケーション室 早川

TEL 03-3730-7013

問合せフォーム [https://www.tokyokeiki.jp/form/webform\\_ir.html](https://www.tokyokeiki.jp/form/webform_ir.html)

ホームページ <https://www.tokyokeiki.jp/>



株式会社シェアードリサーチによるアナリストレポートを公開しています。

日本語版 <https://sharedresearch.jp/ja/companies/7721>

英語版 <https://sharedresearch.jp/en/companies/7721>

本レポートは予告なく公開終了する場合がございます。